

令和8年度 教科年間計画

教科	家庭	3年	使用	【教科書】家庭703フードデザイン
科目	フードデザイン	3単位	教材	

科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ・食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
--

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなど、フードデザインに必要な要素を相互に関連付けて理解し、実践できる技術を習得している。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなど、フードデザインに必要な要素を相互に関連付けて理解し、実践できる技術を習得している。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなど、フードデザインに必要な要素を相互に関連付けて理解している。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	多面的に食生活の現状を捉えて思考を深め、食生活の充実向上を目指して自ら課題を発見するとともに、家庭や地域の実情に合わせてより豊かな食生活を創造することによって、課題を解決できる。	多面的に食生活の現状を捉えて思考を深め、食生活の充実向上を目指して自ら課題を発見するとともに、家庭や地域の実情に合わせてより豊かな食生活を創造することによって、課題を解決できる。	多面的に食生活の現状を捉えて思考を深め、食生活の充実向上を目指して自ら課題を発見することができる。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り 組む態度	人々の健康の保持増進と健全な食生活の実現を図るために、進んで学ぶ姿勢を持ちつつ、食材を適切に選択し作るところから食べるところまでを総合的に捉えて、主体的に計画・実践することができる。	人々の健康の保持増進と健全な食生活の実現を図るために、進んで学ぶ姿勢を持ちつつ、食材を適切に選択し作るところから食べるところまでを総合的に捉えて、主体的に計画・実践することができる。	人々の健康の保持増進と健全な食生活の実現を図るために、食材を適切に選択し作るところから食べるところまでを総合的に捉えて、主体的に計画・実践しようとしている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
調理の 基本	調理のおいしさ 1.調理の目的 2.食べ物のおいしさ	8	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 調理の目的とおいしさにかかわる要因について理解している。 日常食, 行事食, 供応食などの調理に必要な調理技術の基礎を身につけることができる。 	ワークシート レポート 単元テスト
				○		<ul style="list-style-type: none"> 食物のおいしさは, 味・におい・色・テクスチャー・温度などに関わっており, 調味, 加熱やその他の調理操作が料理のできあがりに与える影響について思考を深めることができる。 	
	調理操作 1.非加熱操作 2.加熱操作 3.加熱調理器具	5	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 主な加熱操作と非加熱操作について, 食品の調理性や栄養的特徴などがかかわらせて理解できる。 調味, 加熱やその他の調理操作が, 料理のできあがりに大きく影響することを実験を通して観察し, 考察することができる。 	
	調味操作 1.調味の目的 2.調味をする段階	5	○			<ul style="list-style-type: none"> 調味に関する基本的な知識を習得している。 	
栄養素のはたらきと食事計画	栄養素のはたらき 1.食事の摂取と栄養 2.炭水化物 3.脂質 4.たんぱく質 5.ミネラル 6.ビタミン 7.その他の食品成分 8.エネルギー	15	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 人間が食品の摂取により栄養をどのように取り入れていくか, 食物が体内でどのように消化・吸収され, 活用されていくか考えることができる。 各栄養素の特徴と体内でののはたらき, 代謝について理解する。 水とその他の物質について, 役割やはたらきを理解する。 	ワークシート レポート 単元テスト

単元名	学習内容	時数	内容の評価 の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
食品の 特徴・ 表示・ 安全	食品の特徴と性質	20	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> これらの食品について、調理上の性質や加工品を理解している。 上新粉と白玉粉、じゃがいも、卵、砂糖、かんてんとゼラチンなどの調理性を実験を通して学び、調理に生かす。 	ワークシート レポート 単元テスト
	1.穀類						
	2.いも類						
	3.砂糖						
	4.豆類						
	5.種実類						
	6.野菜類						
	7.くだもの類						
	8.きのこ類						
	9.海藻類						
	10.魚介類						
	11.肉類						
	12.卵類						
	13.牛乳・乳製品						
	14.油脂類						
	15.かんてん・ゼラチン						
	16.嗜好食品						
	17.調味料・香辛料						
	18.加工食品と加工方法						
19.特別用途食品と保健機能食品							
栄養素 のはた らきと 食事計 画	ライフステージと栄養	4	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期から高齢期までのライフステージごとの栄養の特徴や食生活上の留意事項について理解できる。 各ライフステージに応じた望ましい食生活を判断することができる。 	ワークシート レポート
	食事摂取基準と食事計画	5		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 実際の栄養摂取量と「日本人の食事摂取基準」や「食品群別摂取量のめやす」から、適切な食事計画について考えることができる。 	単元テスト
食品の 特徴・ 表示・ 安全	食品の生産と流通	5	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 調理を前提としてよりよい食品を見極め、購入することができる。 様々な食品の現状を知り、それらをどのように各自の食生活を取り入れていくかについて考えられる。 	ワークシート レポート
	食品の選択と表示	5	○			<ul style="list-style-type: none"> 輸入食品や様々な加工食品など多種多様な食品の中から、目的に応じて適切な選択ができる。 食品について安全や衛生に配慮した適切な判断ができる。 	単元テスト

単元名	学習内容	時数	内容の評価 の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
食品の 特徴・ 表示・ 安全	食品の衛生と安全 1.食中毒 2.台所の衛生 3.食品添加物	5				・食品を衛生的に取り扱うことができる。	
料理形 式とテ ーブル コーデ ィネー ト	料理様式と献立 1.日本料理の様式と献立 2.西洋料理の様式と献立 3.中国料理の様式と献立	5	○			日本料理、様式料理、中国料理等それぞれの様式に応じた食卓構成と作法について理解する。	ワーク シート 単元 テスト
	テーブルコーディネート 1.テーブルコーディネートとは 2.テーブルコーディネートの基本 3.和風のテーブルコーディネート 4.洋風のテーブルコーディネート 5.中国風のテーブルコーディネート 6.室内のコーディネート	8		○	○	・食器、盛り付け、テーブルクロス等、目的に応じた適切な選択ができる。	
実習	献立作成 1.日常食の献立作成条件 2.日常食の献立作成の手順 3.テーマ設定と調理実習	10	○	○	○	具体的な食事テーマの設定、目的に応じた献立作成、献立に適した食品の選択、食品の調理性を踏まえた適切な調理について理解し、実践できる。	レポート 実技 テスト
食育	食育の意義と推進活動 1.食育の意義と課題 2.食育推進活動例	5		○	○	・食育が生活とどのようにかかわっているか考える ・現在行われている食育について関心を持つようとしている。	レポート
時数合計		105					

令和8年度 教科年間計画

教科	国語	3年	使用	【教科書】国語表現（大修館）
科目	国語表現	3単位	教材	【副教材】国語表現（基礎練習ノート）

科目の目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができている。	国語の知識や技能を身に付けることができている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養うことができている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
言葉と表記	3	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。 「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。 正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート
整った文を書く	3	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解している。 「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするために、係り受けや文末表現の統一を正確に理解して、表現のしかたを工夫している。 練習問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート
相手に応じた言葉遣い	2	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解し、適切に使い分けている。 「書くこと」において、事象を的確に描写したり説明したりするために、相手に応じた言葉遣いを的確に使い分けている。 相手に応じた言葉を使い分けることについて、積極的に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート
わかりやすい文を書く	3	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝える目的や手段に応じた適切でわかりやすい文を書く方法を理解している。 「書くこと」において、自分が書いた文や文章が、読み手にわかりやすく伝わるかどうかを吟味し、表現全体を整えたり、読点の打ち方を工夫したりしている。 練習問題を解くことで、わかりやすい文にする学習に積極的に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
文のつなぎ方	2	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを多彩に表現するために、接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。 「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い方を吟味し、文章全体を整えている。 「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート
実践トレーニング①	2	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。 単元1のまとめの設問に積極的に取り組もうとしている。 	単元総括テスト
ブレップ法を使って論理的な文章を作ろう。	4	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉や非言語的表現の特徴と役割について理解を深め、目的や場面に応じた適切な表現を理解している。 「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 伝え合うことの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組もうとしている。 	小テスト 振り返りシート
小論文とは何か	3	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。 「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 	小テスト 小論文 振り返りシート

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
反論を想定して書く	4	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、説得力のある理由を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 反論を想定し、説得力を高めた小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 	小テスト 小論文 振り返りシート
文章を読み取って書く	3	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った文章の要旨から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 	小テスト 小論文 振り返りシート

				<ul style="list-style-type: none"> 文章から読み取ったことをふまえて小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 	
統計資料を読み取って書く	3	○	書	○ <ul style="list-style-type: none"> 小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った統計資料から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 統計資料から読み取れることをもとに小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 	小テスト 小論文 振り返りシート
発想を広げて書く	4	○	書	○ <ul style="list-style-type: none"> 小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。 「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、発想を広げたことをふまえて、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 与えられたテーマから発想を広げて小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 	小テスト 小論文 振り返りシート
論文を書くために	2	○	書	○ <ul style="list-style-type: none"> 小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。 「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したり、引用の方法や参考文献の示し方や注の付け方などに留意するなど、表現のしかたを工夫している。 論文を書くことや、論文を書くときの留意点に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 	小テスト 小論文 振り返りシート

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
将来の自分を考えよう	2	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の職業や自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・自分の将来を考えたり職業について調べてまとめたりする活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート
志望理由を書こう	3	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、志望先と自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 	小テスト 志望理由書 振り返りシート
自己推薦書や学修計画書を書く	3	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 ・「書くこと」において、自分の思いや考えについて、文章の種類を選んで書いている。 ・文書を書くときの留意点や、より説得力のある書類を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 	小テスト 自己推薦書 振り返りシート
自分を見つめて	1	○	話聞	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート
効果的な自己PR	2	○	話聞	○	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 ・効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
面接にチャレンジ	6	○	話 聞	○	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解して使っている。 ・「話すこと・聞くこと」において、面接の場で自分のことを伝えたり、それらを聞いて批評したりしている。 ・面接の留意点や面接での言葉遣いについて興味をもち、意欲的に自己評価や相互評価まで取り組もうとしている。 	小テスト 面接シート 振り返りシート
グループディスカッションをしよう	6	○	話 聞	○	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をしている。 ・グループディスカッションに興味をもち、学習に意欲的に取り組もうとしている。 	小テスト 面接シート 振り返りシート
実践トレーニング②	2	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 ・「書くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・エントリーシートの書き方や面接の際の話し方に興味をもち、よりよい表現を考える活動に意欲的に取り組もうとしている。 	単元総括テスト
通信文を書き分ける	4	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色、通信文ごとの形式の違いについて理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現のしかたを工夫している。 ・さまざまな通信文の使い分けや、手紙の書き方に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート
電話を使いこなす	2	○	話 聞	○	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、電話におけるマナーを意識したやりとりを工夫したりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・電話での効果的なやりとりのしかたに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
電子メールを活用しよう	2	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分ける。 ・「書くこと」において、電子メールの特徴を理解し、注意点や適切な表現のしかたを意識して電子メールを送っている。 ・議論やワークシートへの書き込み、課題の提出をとおして、電子メールの特徴や活用法について理解しようとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート
ネット社会との付き合い方	1	○	話 聞	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解する。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、ネット社会との付き合い方に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。 ・ネット社会との付き合い方について興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート
ネットを活用した情報収集	3	○	話 聞	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解する。 ・「話すこと・聞くこと」において、共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・インターネットでの情報検索のしかたやその留意点に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート
メディアと情報	3	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなメディアの種類や特徴、メディアリテラシーをもとにした情報との向き合い方について理解を深めている。 ・「書くこと」において、メディアとの付き合い方を題材に設定して多様な資料を集め、調べたことを整理したり話し合ったりして、自分や集団の意見をまとめている。 ・さまざまなメディアの特徴とそれから得られる情報について興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート
相手や場面に応じた会話	2	○	話 聞	○	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応や場の状況に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・相手や場面に応じた会話をすることに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。 	小テスト 発表 振り返りシート

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
建設的な議論の進め方	2	○	話聞	○	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 「話すこと・聞くこと」において、話し合いの目的に応じて議論をし、話し合いのしかたや結論の出し方について工夫したり、批評したりしている。 話し合いをよりよく進めることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 	小テスト 発表 振り返りシート
スピーチをしよう	2	○	話聞	○	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、情報を収集、整理して、内容を検討している。 スピーチをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 	小テスト 発表 振り返りシート
プレゼンテーションの工夫	3	○	話聞	○	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 プレゼンテーションをすることに意欲をもち、積極的に活動に取り組もうとしている。 	小テスト 発表 プレゼンテーション 振り返りシート
ビブリオバトルをしよう	4	○	話聞	○	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分ける。 「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 気に入りの本の魅力を紹介する活動をとおして、話し言葉の特徴や役割、表現の特色を理解し、自分の思いや考えが伝わるよう、話の構成や展開を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。 	小テスト 発表 振り返りシート

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
言葉で遊ぶ	2	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、言葉遊びの中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「書くこと」において、目的や意図に応じて適切な題材を決め、語句や表現の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 さまざまな言葉遊びに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート
無人島で生き残れ	1	○	話聞	○	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分ける。 「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 話し合いによって課題を解決するゲーム的活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート
日常生活の正しい過ごし方	3	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 説明書の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 「書くこと」において、説明書の目的や意図に応じて、自分に関わる事柄の中から個性的な題材を決め、文体や情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ユーモラスな取扱説明書を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート
たほいやゲームをしよう	2	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 言葉は事象を概念化し、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 「書くこと」において、言葉の定義を明確にし、曖昧さや誤解のない言い方で簡潔明瞭に説明するなど、表現のしかたを工夫している。 「たほいやゲーム」に興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート
みんなで作ろう国語辞典	6	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。 言葉の定義を書いたり国語辞典を作ったりする活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 	小テスト プリント 振り返りシート
時数合計	105				話す・聞く領域：34 書く領域：71	

令和8年度 教科年間計画

教科	保健体育	3年	使用	【教科書】 現代高等保健体育
科目	体育	2単位	教材	【副教材】 現代高等保健体育ノート

科目の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けることができた。	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全についておおむね理解するとともに、技能を身に付けることができた。	左記の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができた。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力をおおむね養うことができた。	左記の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り 組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができた。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度をおおむね養うことができた。	左記の求められる基準に達していない。

授業計画 (教科の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
体づくり運動 力を高める運動	集団行動 新体力テスト	5 1	 ○	 ○	 ○	○集団行動や準備運動(ランニング・体操・ストレッチング)の意義を理解し意欲的に取り組んでいるか。(主) ○新体力テストを実施し、自分の体力的課題を認識し、解決に向けた具体的な方法を身につけられたか。(思) ○スポーツの歴史的発展と変容 ・スポーツの歴史について理解出来ているか。(知)	
器械運動	マット運動 跳び箱運動	6	○		○	○技(前転、開脚前転、伸膝前転、後転、開脚後転、伸膝後転、倒立など)をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ○自分の動きを分析し、自身で課題解決に向けていく能力を高めることができたか。(主)	単元テスト
ダンス	リズムダンス	9	○	○		○表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や班で、対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現しながら踊ることができているか。(知) ○グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫することができているか。(思)	単元テスト

陸上競技	短距離走	4	○		○	○必要な個人技術を高めることができたか。(知) ○自身の体力や技術的課題に応じた目標を設定し、実行・評価を繰り返す中で解決しようとする能力を高められたか。 (主)	単元テスト
球技①	バレーボール	6		○	○	・個人技術(サーブ、パスとレシーブ、トス、スパイク、ブロック等)をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(思・主)	単元テスト
球技②	ソフトボール	7	○		○	・個人技術(キャッチボール、バッティング等)の能力をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ・ソフトボールのルールを理解した上で、身につけた技能を活用し、状況に応じたゲームができるように工夫することができたか。(思)	単元テスト
体育理論②	競技ルール	1	○			・スポーツの技術、戦術、ルールの変化、スポーツの技術、戦術、ルールは用具の改良やメディアの発達に伴い変わることを理解できたか。(知)	
武道	柔道	9	○		○	・基本動作(姿勢と組み方、進退動作、崩しと体さばき、受け身など)や投げ技(膝車、体落とし、大腰、内股、大外刈りなど)固め技(袈裟固め、横四方固め、上四方固めなど)を身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ・身につけた技能を活用し、自分の特性を踏まえた上で、相手の安全を第一に考えながら約束練習ができるようになったか。(主)	単元テスト
体育理論③	オリンピックについて	1	○			・オリンピックムーブメントとドーピング オリンピックムーブメントによる国際親善や世界平和への役割を理解することや、ドーピングによるスポーツの文化的価値の喪失について理解することができたか。(知)	
球技③	バスケットボール	7	○		○	・個人技術(パス、ドリブル、シュート、フェイント、リバウンド等)をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。また集団技術(健攻、マンツーマンディフェンス)をしっかりと理解し、それらの技能を高めることができたか。(知) ・身につけた技能を活用し、自己の課題の解決に向けて工夫したり、チーム内における自分の役割を果たせるように努めながらゲームに取り組む姿勢を持つことができたか。(主)	単元テスト
軽スポーツ	バドミントン 卓球	4	○		○	・個人技術(ハイクリア、ドロップ・スマッシュ・ヘアピン等)等の技術をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ・身につけた技能を活用し、自己の課題の解決に向けて工夫したり、ペアにおける自分の役割を果たせるように努めながらゲームに取り組む姿勢を持つことができたか。(主)	
	時数合計	60					

令和8年度 教科年間計画

教科	外国語	3年	使用 教材	【教科書】 All Aboard! English Communication (東京書籍)
科目	英語コミュニケーションⅡ	3単位		【副教材】 ・ All Aboard! English Communication II WORKBOOK (東京書籍) ・ DataBase4800 (株式会社 桐原書店)

科目の目標

1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、聞き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の動きなどを理解するとともに、これらについての知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用することができるか。	話し手や書き手の意図、情報などを正しく理解し、語彙・表現・文法を適切に使用している。	話し手や書き手の意図、情報などを概ね理解し、多少の誤りはあるが理解に支障の無い程度の語彙・表現・文法を使用している。	「B」を満たしていない。
②思考力 判断力 表現力	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができるか。	題材について関連する情報なども含めて考察し、自分の意見や気持ちなどを効果的に表現している。	題材について考察し、自分の意見や気持ちなどを表現している。	「B」を満たしていない。

③主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	話し手や書き手の意図、情報などを積極的に理解しようとしている。 題材について関連する情報なども含めて考察し、自分の意見や気持ちなどを積極的に伝えようとしている。	話し手や書き手の意図、情報などを理解しようとしている。 題材について考察し、自分の意見や気持ちなどを伝えようとしている。	「B」を満たしていない。
----------------	---	---	---	--------------

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
○オリエンテーション	英語コミュニケーションⅡの学習について	1			○	これまでの英語の学習を振り返り、今年度の英語コミュニケーションⅡの学習についての見通しをもつ。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価(振り返りのシートなどの記述内容) ④単元テスト(学習内容の定着状況を確認する)
○伝統野菜を未来につなぐ ●Lesson 6	動詞の目的語になるif節	10	○	○	○	地元で有名な場所やものについて、英語で説明することができる。	
○Various Jobs ●Word Box 4	仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を用いた文の形・意味	4	○	○	○	仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を用いて、将来つきたい職業とその理由を述べる。	
○アートで世界をつなぐ ●Lesson 7	関係副詞：where, when	10	○	○	○	世界の人々と交流する方法について、英語で述べることができる。	
○入国審査 ●Communication 2	旅行の目的や滞在日数などを申告する仕方	3	○	○	○	海外旅行先の空港での入国審査においてよく使われる表現を用いて、英語で対話をする。	
○ロンドンの地下鉄 ●Getting the Necessary Information	地下鉄の路線図を見ながら説明する仕方	4	○	○	○	ロンドンの地下鉄の路線図を見て、必要な情報を的確に読み取り、目的地への行き方を案内する。	
○自然のデザインに学ぶ ●Lesson 8	知覚動詞	10	○	○	○	自然界のデザインをヒントにした製品について、英語で発表できる。	
前期期末考査		1	○	○			
●文法のまとめ3	動詞の目的語になるif節/関係副詞/知覚動詞	10	○	○	○	留学生が語る内容を聞き、概要を理解することができる。	

○ Hokkaido Study Abroad Program	必要な情報を聞き、それを整理する技能	1	○	○	○	・社会的な問題について、英語で意見を述べるができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価（振り返りのシートなどの記述内容） ④単元テスト（学習内容の定着状況を確認する）
○甘いチョコレートの 苦い現実 ●Lesson 9	使役動詞	10	○	○	○	興味をもっている社会問題について、英語でエッセイを書く。	
●エッセイライティング	英語でエッセイを書くために必要な情報や感想・意見などをまとめる技能	4	○	○	○	実現できそうにない願望を述べる。	
○～ならいいのに… ●Extra Target 2	仮定法過去	4	○	○	○	人を助ける職業について、英語で説明することができる。	
○ナイチンゲール ●Lesson 10	分詞構文	11	○	○	○	Lesson 9～10 で学習した文法に関する知識・技能の確実な習得を促す。	
●文法のまとめ4	使役動詞／分詞構文	10	○	○	○	学習内容を総合的に振り返る。	
○1年間のまとめ	学習した文法の復習	12	○	○	○	留学生が語る内容を聞き、概要を理解することができる。	
合計			105				

令和8年度 教科年間計画

教科	音楽	3年	使用 教材	【教科書】特になし
科目	演奏研究	3単位		【副教材】特になし

科目の目標

器楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準
①知識・技能	楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に器楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解している。 創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、器楽で表している。
②思考力 判断力 表現力	音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確にもつことができるようにする。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、様々な知識や技能を関連させどのように表すかについて独自の表現意図を深めている。
③主体的に学習 に取り組む態度	音楽性豊かな表現を追求する態度を養う。	主体的・協働的に器楽表現の学習活動に取り組もうとしている。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

学期	時数	単元名	内容の観点			学習内容	単元のねらいおよび評価規準	評価方法
			知	思	主			
前期	1	オリエンテーション				<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の音楽の興味・関心や体験について、中学校までの学習内容を含めて振り返る。 授業の全体像を確認し、1年間の学習の見通しを持つ。 	音楽を幅広くさまざまな視点から捉えることについて考える。	
	12	管楽器基礎 (リコーダー)	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーの基礎的な技能と奏法 リコーダー独奏またはアンサンブル 	リコーダーの独奏やアンサンブルを通して、リコーダーに関する技能を応用しながら、音色や表現を工夫して個性豊かに表現する	<ul style="list-style-type: none"> 練習への取り組み内容 発表の内容 振り返りの内容
	12	弦楽器基礎 (クラシックギター)	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ギターの基礎的な技能と奏法 ギター独奏またはアンサンブル 	ギターの音色や表現の特色を味わうとともに、ギターに関する技能を応用しながら、音色や表現を工夫して個性豊かに表現する。	<ul style="list-style-type: none"> 練習への取り組み内容 発表の内容 振り返りの内容
	12	鍵盤楽器基礎 (ピアノ)	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ピアノの基礎的な技能と奏法 ピアノ独奏または連弾 	ピアノの音色や表現の特色を味わうとともに、ピアノに関する技能を応用しながら、音色や表現を工夫して個性豊かに表現する	<ul style="list-style-type: none"> 練習への取り組み内容 発表の内容 振り返りの内容
	12	和楽器基礎 (文化箏)	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 文化箏の基礎的な技能と奏法 文化箏独奏または二重奏 	和楽器に親しみ、その特色を味わうとともに、奏法を身に付けたり、器楽に関する技能を応用したりしながら、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する	<ul style="list-style-type: none"> 練習への取り組み内容 発表の内容 振り返りの内容
	12	アンサンブル基礎 (バンド)	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> アンサンブルの基本的な技能 バンド形式による演奏 	アンサンブルを通して他者と表現することに親しむとともに、奏法を身につけたり、器楽に関する技能を応用したりしながら、音色や表現を工夫して個性豊かに表現する。	<ul style="list-style-type: none"> 練習への取り組み内容 発表の内容 振り返りの内容
後期	42	器楽演奏探究	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 管楽器・弦楽器・和楽器・鍵盤楽器のうち、任意の楽器を選択 最終成果発表会に向けた演奏曲の決定と研究 	<p>最終成果発表会に向けて課題を設定し、楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に器楽表現するために必要な技能を身に付ける</p> <p>最終成果発表会に向けて設定した課題について、音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確にもつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 練習への取り組み内容 発表の内容 振り返りの内容

	1	成果発表会 に向けて	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの作成 ・コンサートの実施に向けた準備 	最終成果発表会に向けて、これまでの探究活動を振り返り、プログラムに思いや意図を記すとともに、コンサートに向けた準備を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・振り返りの内容
	1	最終成果発表会	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の集大成としてのコンサート ・活動の振り返り 	1年間の成果をコンサート形式で発表し、校内外に発信する	<ul style="list-style-type: none"> ・練習への取り組み内容 ・発表の内容 ・振り返りの内容
105								

令和8年度 教科年間計画

教科	芸術	3年	使用	【教科書】 Joy of Music
科目	音楽Ⅲ	2単位	教材	【副教材】 高校生のための音楽研究ノート

科目の目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準
①知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けているか。	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解している。 創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
②思考力 判断力 表現力	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価したりしながらよさや美しさを深く味わって聴くことができているか。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、様々な知識や技能を関連させどのように表すかについて独自の表現意図を深めている。 音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いている。
③主体的に学習 に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができているか。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

学期	時数	単元名	内容の観点			学習内容	単元のねらいおよび評価規準	評価方法
			知	思	主			
前期	1	オリエンテーション				<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の音楽の興味・関心や体験について、中学校までの学習内容を含めて振り返る。 授業の全体像を確認し、1年間の学習の見通しを持つ。 	音楽を幅広くさまざまな視点から捉えることについて考える。	
	6	Let's Ensemble!	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 様々な楽器によるアンサンブル 役割分担や音色を生かした演奏の工夫 	様々な楽器によるアンサンブルを通して音色や奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述 練習への取り組み内容 発表の内容 振り返りの内容
	6	はじめてのアカペラ	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> アカペラによる歌唱 ハーモニーやパートの役割を生かした音楽表現の工夫 	アカペラの声だけで作り出していく難しさの美しさを体験し、各パートの役割を意識しながら、表現を工夫して歌唱する喜びを味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述 練習への取り組み内容 発表の内容 振り返りの内容
	4	『スクール・オブ・ロック』から学ぶ Rock 'n' Roll	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 映画『スクール・オブ・ロック』の鑑賞 ロック・ミュージックの鑑賞 	映画『スクール・オブ・ロック』の鑑賞を通して、ロック・ミュージックの歴史や変遷、精神性を学ぶとともに、音楽表現の固有性について考え、よさや美しさを自ら味わって聴く。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述 発表の内容 振り返りの内容
	6	「音の風景」を探究する ～サウンドスケープの世界～	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの音を知覚し、サウンドスケープの体験 サウンドスケープ作品の創作 	サウンドスケープを体験し、身の回りの様々な音を知覚するとともに、それらを音素材にしたサウンドスケープ作品を創作する。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述 発表の内容 提出作品の内容 振り返りの内容
	2	STAGE PRODUCE 音楽を「届ける」仕組み	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 音楽が社会に届けられる仕組みを理解する コンサートに関わる仕事を知り、最終成果発表会に向けて意欲を高める 	音楽が社会に届けられる仕組みや音楽に関わる権利について理解し、社会における音楽の役割を自身の生活と関連付けながら考える。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述 振り返りの内容
	10	混声合唱にチャレンジ! 3rd Season	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 学校祭、卒業式に向けた式歌の取り組み 少人数による混声合唱 	各パートの役割を意識するとともに、全体の響きや表現上の効果に留意しながら、表現を工夫して合唱する喜びを味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述 練習への取り組み内容 発表の内容 振り返りの内容

後 期	28	自己のテーマに基づ く音楽表現の探究	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱・器楽・創作のうち、 任意の楽器を選択 ・最終成果発表会に向け た演奏曲の決定と研究 	<p>最終成果発表会に向けて課題を設定し、楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に表現するために必要な技能を身に付ける。</p> <p>最終成果発表会に向けて設定した課題について、音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確にもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・練習への取り組み内容 ・振り返りの内容
	2	成果発表会に向けて	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの作成 ・コンサートの実施に向けた準備 	<p>最終成果発表会に向けて、これまでの探究活動を振り返り、プログラムに思いや意図を記すとともに、コンサートに向けた準備を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・振り返りの内容
	2	最終成果発表会	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の集大成としてのコンサート ・活動の振り返り 	<p>1年間の成果をコンサート形式で発表し、校内外に発信する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・練習への取り組み内容 ・発表の内容 ・振り返りの内容
	3	コンサートを鑑賞し よう		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽Ⅱのクリスマス コンサートの鑑賞 ・演奏研究のミニコンサ ートの鑑賞 	<p>音楽のよさや美しさを感じ取り、感じたことを、音楽を構成する要素を根拠にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・振り返りの内容
	70							

令和8年度 教科年間計画

教科	商業	3年	使用	【教科書】原価計算 (TAC)
科目	原価計算	3単位	教材	【副教材】なし

科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、原価情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。
- (3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	原価計算に関する基礎的・基本的な知識や仕組みについて理論と実務を関連づけて理解するとともに、適正な会計処理を行う技術を身につけている。	原価計算に関する基礎的・基本的な知識や仕組みについて理論と実務を関連づけて理解するとともに、適正な会計処理を行う技術についてきちんと理解している。	原価計算に関する基礎的・基本的な知識や仕組みについて理論と実務を関連づけて理解するとともに、適正な会計処理を行う技術についておおむね理解している。	「B」の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わるものとして、適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わるものとして適切に思考・判断してきちんと説明できる。	適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わるものとして、適切に判断し、表現する創造的な能力をおおむね身につけている。	「B」の求められる基準に達していない。
③主体的 に学習に 取り組む 態度	原価計算について関心を持ち、適正な会計処理を行うことをめざして主体的に取り組む態度をもち、会計処理を行う実践的な態度を身につけている。	原価計算について関心を持ち、適正な会計処理を行うことをめざして主体的に取り組む態度をもち、会計処理について、自ら意欲的に取り組み理解しようとしている。	原価計算について関心を持ち、適正な会計処理を行うことをめざして主体的に取り組む態度をもち、会計処理について、理解しようとして取り組んでいる。	「B」の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
第1編 原価計算の基礎 第1章 原価と原価計算	1 商業簿記と工業簿記 2 工業簿記と原価計算 3 サービス業における原価計算の活用方法 4 製品別の利益計算 5 原価とは	3	○	○	○	・製造原価と総原価の違い及び発生形態、製品との関連、操業度との関連による原価要素の分類について学習する。さらに、サービス業における原価情報の活用の特徴について、具体的な事例を用いて学習する。 原価と原価計算の概要について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(知) 原価計算の意義について、原価情報の提供及び活用と関連付けて見いだしている。(思) 原価と原価計算について自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト 振り返りシート
第2章 原価計算のあらまし	1 製造原価の分類 2 賦課と配賦 3 原価計算の目的 4 原価計算の流れ 5 原価計算期間 6 個別原価計算と総合原価計算 7 実際原価計算と標準原価計算 8 全部原価計算と部分原価計算	3	○	○	○	・原価計算の目的、手続、期間、種類について学習する。 ・各種原価計算の意義と分類を捉える。 原価と原価計算の概要、分類について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(知) 原価計算の意義、分類について、原価情報の提供及び活用と関連付けて見いだしている。(思) 原価と原価計算の意義、分類について自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト 振り返りシート
第3章 工業簿記の勘定連絡	1 工業簿記の勘定記入 2 工業簿記特有の勘定科目 3 工業簿記の勘定連絡 4 工業簿記の勘定連絡のまとめ	8	○	○	○	・製造工程の特色、材料費、労務費、経費の計算から製品の完成、販売までの記帳の流れ及び製品ごとに利益を計算することの重要性について扱う。 工業簿記の勘定連絡について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(知) 工業簿記の勘定連絡について、原価情報の提供及び活用と関連付けて見いだしている。(思) 工業簿記の勘定連絡について自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト 振り返りシート
第2編 原価の目別計算 第4章 材料費	1 材料費とは 2 材料費の分類 3 材料の仕入れと記帳 4 材料の保管 5 材料の消費と記帳 6 材料の消費高の計算 7 予定価格法による記帳	10	○	○	○	・材料費の分類、材料の仕入、払出、消費などにおける計算方法と仕訳について扱う。なお、材料の消費単価に関しては、原価法及び予定価格法について学習する。 材料費の計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(知) 材料費の計算と処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。(思) 材料費の計算について自ら学び、費目別計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト 振り返りシート
第5章 労務費	1 労務費とは 2 労務費の分類 3 賃金の支払高の計算と記帳 4 賃金の消費高の計算と記帳 5 予定賃率を用いる計算 6 予定賃率による記帳 7 賃金以外の労務費の計算と記帳	8	○	○	○	・労務費の分類、賃金の支払、消費における計算方法と仕訳について扱う。なお、消費賃率に関しては、実際賃率及び予定賃率について学習する。 労務費の計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(知) 労務費の計算と処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。(思) 労務費の計算について自ら学び、費目別計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト 振り返りシート
第6章 経費	1 経費とは 2 経費の分類 3 経費の消費高の計算と記帳	5	○	○	○	・経費の分類、消費高の計算方法と仕訳について学習する。 経費の計算と処理の方法について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(知) 経費の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。(思) 経費の計算について自ら学び、費目別計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト 振り返りシート
第3編 原価の部門別計算 第7章 個別原価	1 個別原価計算 2 原価計算表への記入 3 原価元帳と製造勘定 4 製造間接費の配賦方法 5 製造間接費の予定配賦 6 製造間接費予算の設定方法	7	○	○	○	・原価計算表の作成、原価計算表と仕掛品勘定との関係、製造間接費の配賦、仕損と作業くずの処理方法について扱う。また、製造間接費差異の原因別分析に関して、公式法変動予算と固定予算を採用した場合の予算差異と操業度差異について学習する。 個別原価計算について理論と実務とを関連付けて理	プリント 小テスト 単元テスト 振り返りシート

計算	7 公式法変動予算による差異分析 8 固定予算による差異分析 9 仕損品と作業くず					解するとともに、関連する技術を身に付けている。 (知) 個別原価計算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。(思) 個別原価計算について自ら学び、個別原価計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用主体的かつ協動的に取り組もうとしている。(主)	
第8章 部門別個別原価計算	1 部門別個別原価計算 2 原価部門の設定 3 部門別個別原価計算の手続き 4 部門費配分表の作成 5 部門費振替表の作成 6 製造部門費予定配賦表の作成	7	○	○	○	・部門別計算の目的及び原価部門の設定、部門別費と部門共通費の区分について扱う。また、部門費配分表と部門費振替表の作成方法及び製造部門費の予定配賦の方法について学習する。 原価の部門別計算と製品別計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(知) 原価の部門別計算と製品別計算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。(思) 原価の部門別計算と製品別計算について自ら学び、部門別計算と製品別計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用主体的かつ協動的に取り組もうとしている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト 振り返りシート
	前期未考査	1					
第9章 総合原価計算	1 総合原価計算とは 2 単純総合原価計算 3 月末仕掛品原価の計算(平均法の場合) 4 月末仕掛品原価の計算(先入先出法の場合) 5 単純総合原価計算表と記帳 6 等級別総合原価計算 7 組別総合原価計算	7	○	○	○	・総合原価計算と個別原価計算の違い、月末仕掛品原価の計算方法について扱う。また、単純総合原価計算を中心として、等級別総合原価計算、組別総合原価計算に関して、それぞれの考え方や計算方法及び記帳法について学習する。 総合原価計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(知) 総合原価計算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。(思) 総合原価計算について自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用主体的かつ協動的に取り組もうとしている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト 振り返りシート
第10章 工程別原価計算	1 工程別総合原価計算とは 2 工程別総合原価計算の計算方法 3 工程別総合原価計算の記帳 4 半製品がある場合	5	○	○	○	・工程がある場合の総合原価計算の計算方法について学習する。 工程別総合原価計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(知) 工程別総合原価計算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。(思) 工程別総合原価計算について自ら学び、工程別総合原価計算による適正な原価情報の提供と効果的な活用主体的かつ協動的に取り組もうとしている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト 振り返りシート
第11章 総合原価減損・仕損品の発生など	1 総合原価計算における減損 2 正常減損費の処理 3 正常仕損費の処理 4 副産物・作業くずの処理	5	○	○	○	・仕損と減損及び副産物の処理方法について学習する。 総合原価計算における減損・仕損等の処理について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(知) 総合原価計算における減損・仕損等の処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。(思) 総合原価計算における減損・仕損等の処理について自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用主体的かつ協動的に取り組もうとしている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト 振り返りシート
第4編 製品の完成・販売と決算 第12章 製品の完成と販売	1 製品が完成したとき 2 製品を販売したとき 3 販売費及び一般管理費	3	○	○	○	・製品の完成と販売の記帳法について学習する。 ・販売費及び一般管理費に関する分類、計算方法について学習する。 製品の販売・完成、販売費及び一般管理費について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(知) 製品の販売・完成、販売費及び一般管理費の処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。(思) 製品の販売・完成、販売費及び一般管理費の処理について自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用主体的かつ協動的に取り組もうとしている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト 振り返りシート
第13章 決算と本社工場間の取引	1 工場の決算 2 月次決算と年次決算 3 財務諸表の作成 4 本社工場間の取引	5	○	○	○	・工場会計が本社会計から独立している場合における、製品の完成や販売などに係る本社と工場間の取引の記帳法について学習する。 ・製造業における決算の特徴と手続、製造原価報告書の作成方法及び製造業と商品売業の財務諸表の違いについて学習する。 ・製造原価報告書に関しては、製造間接費が実際配賦された場合及び予定配賦された場合の作成方法について学習する。 内部会計に関する会計処理について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に	プリント 小テスト 単元テスト 振り返りシート

					付けている。(知) 内部会計に関する会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。(思) 内部会計に関する会計処理について自ら学び、適正な会計処理による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。(主)		
第5編 標準原価計算 第14章 標準原価計算(その1)	1 標準原価計算 2 標準原価計算の手続き 3 原価標準の設定 4 標準原価の計算	5	○	○	○	・標準原価計算の目的、標準原価計算の一連の手続及びシングルプランとパーシャルプランによる記帳法について学習する。 標準原価計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(知) 標準原価計算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。(思) 標準原価計算について自ら学び、標準原価計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト 振り返りシート
第15章 標準原価計算(その2)	1 原価差異の計算 2 原価差異の分析 3 標準原価計算の記帳方法 4 損益計算書の作成	8	○	○	○	・直接材料費差異、直接労務費差異及び公式法変動予算と固定予算を採用した場合の3分法による製造間接費差異の分析について学習する。 標準原価計算の差異の処理、記帳法、財務諸表の作成について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(知) 標準原価計算の差異の処理、記帳法、財務諸表の作成の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。(思) 標準原価計算の差異の処理、記帳法、財務諸表の作成について自ら学び、標準原価計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト 振り返りシート
第6編 直接原価計算 第16章 直接原価計算(その1)	1 直接原価計算 2 直接原価計算の損益計算書 3 利益計画	7	○	○	○	・直接原価計算の目的と方法、直接原価計算による損益計算書の作成方法及び全部原価計算による損益計算書との違いについて学習する。 直接原価計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(知) 直接原価計算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。(思) 直接原価計算について自ら学び、直接原価計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト 振り返りシート
第17章 直接原価計算(その2)	1 CVP分析 2 損益分岐点売上高 3 目標営業利益を達成する売上高 4 損益分岐図表 5 原価の固定分解 6 損益分岐点比率と安全余裕率	8	○	○	○	・直接原価計算が短期利益計画に有用な情報を提供できること及び原価、営業量、利益の関係を分析する方法について学習する。 短期利益計画について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(知) 短期利益計画の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。(思) 短期利益計画について自ら学び、直接原価計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。(主)	プリント 小テスト 単元テスト 振り返りシート
		105					

令和8年度 教科年間計画

教科	国語	3年	使用	【教科書】なし
科目	実用国語	3単位	教材	【副教材】共通テスト対策決戦現代文完答 22+6

科目の目標

大学共通テストを見据え、物語や説明文、古文、漢文の読解を中心に行い、文章を的確に理解する能力を育てる。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	「言語文化」及び「現代の国語」で身に付けた知識や技能を基礎として、より実社会的な文章を読み解くことができる。	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができている。	国語の知識や技能を身に付けることができている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養うことができている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
データ分析の見方・仕方	4	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> データを正確に読み込む方法を理解している。 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 	小テスト プリント
文章の構造について	5	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 様々な論理的な文の構造を理解している。 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 	小テスト プリント
現代文（説明的な文章）の読解	25	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 	小テスト プリント
現代文（文学的な文章）の読解	25	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 	小テスト プリント

学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
		知	思	主		
前期期末考査	1	○	書	○		
古文（基礎基本）	25	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 	小テスト プリント
漢文（基礎基本）	20	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 	小テスト プリント
時数合計	105					

令和8年度 教科年間計画

教科	商業	3年	使用 教材	【教科書】 最新情報処理 (実教出版)
科目	情報処理	3単位		【副教材】 パーフェクトガイド情報 Office2021 対応 (実教出版)

科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を確実に身に付けているとともに、ビジネスに携わる者について理解している。	企業において情報を扱うことについて実務の活用について理解し、技能を身に付けているとともに、ビジネスに携わる者について理解している。	「B」の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業において情報を扱うことに関する課題を捉え、ビジネスに携わる者として情報処理を適切かつ効果的に用いている。	「B」の求められる基準に達していない。
③主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに向けて主体的に情報処理を活用し、自己の学習を振り返り、修正点や新たな気づきを提示し、学習の自己調整をしようとしているなど、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに向けて主体的に情報処理を活用し、自ら評価し改善しようとしている。	「B」の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知:知識・技能 思:思考力・判断力・表現力 主:主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
1 章 企業活動と情報処理	1節 情報処理の重要性	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 情報の意義と重要性について考え、説明することができたか。(知) 情報システムの構成や処理方式の概要を理解し、具体的な利用例を説明できたか。(知) 日常利用しているさまざまな情報システムに関心を持ち、その意義や役割を考慮することができたか。(思) ビジネスにおける情報の役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持ったか。(主) 	小テスト 単元テスト プリント 振り返りシート
	2節 情報モラルと法規	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 情報を取り扱う上で守るべき法規の必要性と、その概要を理解することができたか。(知) ネットワーク社会の危険性に気づき、対策を理解することができたか。(知) 身近な事例で情報モラルにもとづいた正しい行動のあり方を考え、文章で表現することができたか。(思) 情報を取り扱う上で守るべき法律を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持ったか。(主) 	
	3節 コミュニケーションと情報デザイン	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 情報処理における情報デザインについて理解するとともに、関連する技術を身に付けたか。(知) 情報処理における情報デザインの意義と課題について、企業活動と関連付けて見い出せたか。(思) 企業における情報処理について自ら学び、適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組もうとしているか。(主) 	
2 章 コンピュータシステムと通信ネットワーク	1節 コンピュータシステムの概要	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの基本的な機能と構成を理解し、ハードウェアとソフトウェアの種類と機能について理解するとともに、それを活用する基本的な技術を身に付けたか。(知) コンピュータの基本的な機能と構成を理解し、ビジネスに活用できるハードウェアとソフトウェアを適切に構成して、その機能を活用することができたか。(思) コンピュータシステムについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしているか。(主) 	小テスト 単元テスト プリント 振り返りシート
	2節 情報通信ネットワークのしくみと構成	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 検索・収集にインターネットを利用することに興味を持ち、効率的な検索ができるか。また、情報の価値や正確性について理解できたか。(知) 情報通信ネットワークを構成する装置の機能を理解し、具体的に説明できたか。(思) 情報通信ネットワークのしくみと構成について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしているか。(主) 	
	3節 インターネットの活用	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 電子メールのマナーなどについて興味を持ち、適切に利用できるか。また、危険性などについて理解できたか。(知) インターネットを利用するための仕組みについて考え、具体的に説明することができたか。(思) インターネットの活用について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしているか。(主) 	
	4節 情報セキュリティの確保	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 情報化社会に参画するために個人が身に付けるべきセキュリティ管理の方法について理解できたか。(知) 情報技術におけるセキュリティ管理について興味を持ち、対策などを考察できるか。(思) 情報セキュリティについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしているか。(主) 	
3 章 情報の収集と分析	1節 ビジネスと統計	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークを利用したビジネス情報の検索と活用方法について理解できたか。(知) ビジネス情報の検索と有効的な活用法を考え、説明することができたか。(思) 情報の重要性について理解するとともに、情報を分析して適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。(主) 	小テスト 単元テスト プリント 振り返りシート 製作物(表計算シート)
	2節 関数を利用した表の作成	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な操作や計算式及び関数について理解し、目的に応じて適切な表の作成する技術を身に付けたか。(知) 状況に応じて、計算式や関数を適切に選択することができたか。(思) 基本的な操作や関数等について理解し、表を作成する技術を身に付けるとともに、適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。(主) 	
	3節 グラフの作成	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> それぞれのグラフの特徴やグラフの構成要素を理解できたか。(知) 目的に応じた適切なグラフを作成し、グラフから読み取れる内容を理解できたか。(知) 適切なグラフを作成するために、適切な操作方法 	

						を判断することができたか。(思) ・グラフの作成について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組もうとしているか。(主)	
	4節 情報の整列・検索・抽出	7	○	○	○	・基準のキー項目でデータの整列ができたか。(知) ・フィルタ機能などを利用して、データの分類や整列、必要なデータの検索、抽出ができたか。(知) ・抽出されたデータの意義を理解して分析し、判断することができたか。(思) ・情報の整列、検索、抽出方法について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組もうとしているか。(主)	
	5節 問題の発見と解決の方法	5	○	○	○	・ビジネスに関する問題の発見と解決について、基礎的な技法を理解し、関連する技術を身に付けているか。(知) ・ビジネスに関する問題の発見と解決について、情報の提供に対する要求を分析し、科学的根拠に基づいて表現し、評価・改善できたか。(思) ・ビジネスに関する問題の発見と解決について、自ら学び、適切な情報の提供と効果的な活用について主体的かつ協動的に取り組もうとしているか。(主)	
	前期末考査	1					
4章 ビジネス文書の作成	1節 ビジネス文書と表現	2	○	○	○	・情報と文書の関係などについて興味を持ち、各種文書の役割や文書の構成要素などについて理解できたか。(知) ・文書処理の流れやビジネス文書の分類について理解し、説明することができたか。(思) ・ビジネス文書と表現について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組もうとしているか。(主)	小テスト 単元テスト プリント 振り返しシート 製作物(文書)
	2節 基本文書の作成 1. ワープロの操作と入力方法	8	○	○	○	・ワープロの利用に関する知識と技術を習得し、書の構成、構成要素の配置、文書作成の要領について理解できたか。(知) ・ワープロを利用した基本文書の作成に興味を持ち、様々な文書を適切に選択できるか。(思) ・ワープロの基本操作について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組もうとしているか。(主)	
	2節 基本文書の作成 2. ワープロを利用した文書の作成 3. 社外文書 4. 社内文書	2	○	○	○	・基本的な社内文書や社外文書について、作成に関する知識と技術について習得することができたか。(知) ・各文書の違いについて理解し、説明することができたか。(思) ・ワープロを利用した文書作成について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組もうとしているか。(主)	
	3節 応用文書の作成	8	○	○	○	・ワープロの多様な機能を利用して、表やグラフなどを含む応用的な文書の作成に関する知識と技術を身に付けることができたか。(知) ・計算機能やグラフ、イラストなどを利用した表現力に富んだ文書の作成に積極的に取り組み、必要に応じて様々な機能を判断し、選択できるか。(思) ・応用文書の作成について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組もうとしているか。(主)	
5章 プレゼンテーション	1節 プレゼンテーションの技法	2	○	○	○	・ビジネス活動におけるプレゼンテーションの意義を理解するとともに、基礎的な技法を身に付けることができたか。(知) ・プレゼンテーション活動の意義や役割を理解するとともに、適切な情報収集や整理、内容構成を考慮することができたか。(思) ・プレゼンテーションの技法について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組もうとしているか。(主)	小テスト プリント 振り返しシート
	2節 ビジネスにおけるプレゼンテーション	8	○	○	○	・目的や形態によるプレゼンテーション方法の違いについて理解するとともに、プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を通して、資料の作成などの発表準備から発表までの一連の活動について理解を深めたか。(知) ・目的や形態に応じた適切な方法で、資料作成などの準備ができていくか。また、聴衆が理解しやすい資料や構成になっているか。(思) ・実習や探究問題に主体的に取り組んでいるか。(主)	
総合演習	総合演習	38	○	○	○	・様々なソフトウェアと連携した文書などが作成でき、多様な機能を理解したか。(知) ・各種ソフトウェアを活用し、実習に積極的に取り組み、文書に必要な適切な処理などを考察できたか。(思) ・総合演習問題に、主体的かつ協動的に取り組もうとしているか。(主)	実習・発表 振り返しシート
時数合計		105					

令和8年度 教科年間計画

教科	数学	3年	使用 教材	最新 数学 I (数研出版)、最新 数学 A (数研出版) ※1年次に購入済み
科目	数学応用	2単位		新課程 チャート式 基礎と演習 数学I+A 新課程 チャート式 基礎と演習数学I+A 基本・標準例題 完成ノートパック

【科目の目標】

数学 I, 数学 A の範囲について、基礎的な知識の習得と技能を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

【評価の観点】

評価の観点		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・ 技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を考察する力、数学的な表現を用いて事象を表現する力を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的 に学習に 取り組む 態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	月	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
				知	思	主		
数と式	1. 多項式 2. 多項式の加法・減法・乗法 3. 展開の公式 4. 式の展開の工夫 5. 因数分解 6. いろいろな因数分解	4	4月	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 多項式に関する基本的な用語の意味や整理の方法、ならびに加法・減法、乗法、指数法則を理解する。また、展開の公式と因数分解の基本原則(分配法則や展開公式の逆)を理解し、これらの知識・技能を用いて基本的な多項式の計算(展開・因数分解)を行うことができる。【知】 複雑な式の展開や因数分解に取り組む際、式全体を見通し、公式や計算の工夫の仕方を適切に判断する。そして、最も効率的かつ正確な手順を思考し、その手順に従って計算を進めることができる。【思】 式の特徴に積極的に着目し、これまで学んだ知識や技能を自ら活用することで、より複雑な式や新しい問題に対しても、粘り強く因数分解の工夫に取り組もうとする姿勢を持つ。【主】 	ノート 課題
	単元テスト	1		○	○			テスト
	7. 実数 8. 根号を含む式の計算 9. 不等式 10. 不等式の性質 11. 1次不等式の解き方 12. 連立不等式 13. 不等式の利用	3	5月	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 実数が四則演算に関して閉じていることを理解し、根号を含む式(無理数)の基本的な四則計算を行うことができる。また、不等式の意味、性質を理解し、それらを用いて1次不等式や連立不等式を正確に解くことができる。【知】 不等式の性質を数直線上の点と関連付けて捉え直し、その意味や解法について考察することができる。【思】 今まで学習してきた数の体系(自然数、整数、有理数、実数など)について自ら進んで整理し、その構造を深く考察しようとする。また、身近な事象を不等式で表現し、その解を利用して問題の解決に活用しようとする。【主】 	ノート 課題

	単元テスト	1		○	○			テスト
集合と命題	1. 集合と部分集合 2. 共通部分、和集合、補集合 3. 命題と集合 4. 命題と証明						<ul style="list-style-type: none"> • 集合の表し方や、共通部分、和集合、補集合といった用語の意味と記号の使い方を理解する。また、命題、条件、必要条件、十分条件の意味、および命題の逆、裏、対偶といった基礎知識を身に付けている。【知】 • ベン図などの図を用いて集合やその関係を視覚的に表現し、それに基づいて考察することができる。さらに、集合の包含関係と関連付けながら命題の真偽を考察したり、対偶や背理法を用いて命題を証明したりすることができる。【思】 • 集合や命題について、それぞれの特徴や関係性に応じた最適な表現方法(記号、ベン図など)を積極的に考察しようとする。また、直接証明が難しい命題に対して、対偶や背理法といった証明方法を活用できることへの関心を持ち、これらを積極的に利用しようと努める。【主】 	ノート 課題
	単元テスト	2	5月	○	○	○		テスト

2次関数	1. 関数 2. 関数とグラフ 3. 4. 5. 6. 7. 8. 2次関数の最大・最小 9. 2次関数の決定	7	6月	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の定義、グラフ（放物線）の特徴、値の変化を理解する。また、与えられた条件から2次関数を決定する方法を習得し、定義域や軸の位置を考慮して関数の最大値・最小値を求めることができる。【知】 ・2次関数のグラフの特徴（頂点、軸、開きの向きなど）を、式変形や条件から考察し、正確に把握することができる。また、グラフを活用して、関数の最大値・最小値が存在する理由やその求め方について論理的に考えることができる。【思】 ・2次関数が与えられたとき、平方完成などの適切な式変形を行い、関数の性質（頂点の座標など）を明らかにした上で、そのグラフを正確にかこうと努める。また、様々な条件から2次関数を決定する問題に対して積極的に関心を持ち、その決定条件について深く考察しようとする。【主】 	ノート 課題
	単元テスト	1		○	○			テスト
2次関数	10. 2次方程式 11. 2次関数のグラフとx軸の共有点 12. 2次不等式 13. 2次不等式の利用	4	6月	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式の解と、対応する2次関数のグラフのx軸との共有点の関係を理解している。また、2次関数のグラフを用いて、2次不等式の解を正確に求めることができる。【知】 ・判別式の知識を活用し、2次方程式が実数解を持つ、または重解を持つための条件を、式（不等式など）で正確に表現することができる。【思】 ・2次不等式の考え方について、身近な現象や問題を解決するための強力な道具として認識し、積極的にモデル化（数式で表現すること）して活用しようとする。【主】 	
	単元テスト	1		○	○			テスト

図形と計量

1. 鋭角の三角比 2. 三角比の利用 3. 三角比の相互関係 4. 三角比の拡張 5. 三角比が与えられたときの角	4	7月	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・鋭角に対する三角比 (\sin, \cos, \tan) の意味を理解し、相互関係の公式を習得している。これらの知識と技能を用いて、直角三角形における距離や高さを求める具体的な計算を行うことができる。【知】 ・図形の問題において、適切な直角三角形を設定し、どの三角比を用いるべきかを判断することができる。また、相互関係の公式を利用して、一つの三角比の値から他の三角比の値を導き出すことができる。【思】 ・実際に直接測定することが困難な距離や高さといった具体的な事象に対して、それを三角比の問題として捉え、図や数式を用いて解決策を考察しようとする意欲的に取り組む姿勢を持つ。【主】 	ノート 課題
単元テスト	1		○	○		テスト
6. 正弦定理 7. 余弦定理 8. 三角形の面積 9. 図形の計量	2	7月	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・正弦定理と余弦定理を正確に理解し、それらの公式を用いて三角形の外接円の半径、辺の長さ、および角の大きさを求めることができる。また、三角比を用いた三角形の面積の公式を理解し、面積を計算することができる。【知】 ・三角形の面積を求める際に、辺の長さと角の関係や、三角比が面積にどのように関わるかを考察することができる。また、正弦定理や余弦定理を、具体的な測量の問題などの図形の計量に応用し、適切な公式を選択して問題を解決することができる。【思】 ・日常の事象や社会の事象における測量や距離を求める問題に対して、正弦定理や余弦定理といった図形の計量の知識を積極的に活用し、数学的に解決しようとする主体的に取り組む。【主】 	
単元テスト	1		○	○		テスト

データの分析	1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばり 4. データの相関 5. 相関係数 6. 分割表 7. 仮説検定の考え方	4	8月	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> • 平均値、最頻値、中央値といったデータの代表値、および四分位数、四分位範囲、分散、標準偏差といったデータの散らばりを示す統計量の定義と意味を理解し、それらの値を正確に求めることができる。また、相関係数の定義と意味を理解し、定義に従って値を計算することができる。【知】 • 箱ひげ図を作成し、複数のデータの分布を比較・考察することができる。さらに、散布図や相関表を作成し、2つの変量の間是否存在する相関関係の有無や強さを考察することができる。【思】 • 度数分布表を用いてデータを系統的に整理し、その表からデータの全体的な傾向を積極的に考察しようと努める。また、データの散らばりの度合いを、分散や標準偏差といった統計量で数値化する意味や方法について深く考察しようとする。【主】 	ノート 課題
	単元テスト	1		○	○		テスト	
(前期) 期末テスト	1			○	○			

場合の数と確率	1. 集合 2. 集合の要素の個数 3. 樹形図、和の法則、積の法則 4. 順列 5. 円順列と重複順列 6. 組合せ	4	9月	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・集合に関する用語、特に補集合や和集合の要素の個数の公式を理解し、それらを用いて要素の個数を求めることができる。順列、円順列、重複順列、組合せの用語、記号、公式を理解し、それぞれの総数を計算することができる。【知】 ・ベン図を利用して集合を図示し、要素の個数を考察することができる。積の法則から順列の公式を考察したり、既知の順列や積の法則をもとにして円順列や重複順列を考察したりできる。また、順列の総数をもとにして組合せの総数を考察したり、同じ物を含む順列を組合せの考え方で考察したりすることができる。さらに、場合の数を数える際に、最も適切な方針を判断し考察することができる。【思】 ・場合の数を求める際、樹形図などの手法を利用して、もれなく重複することなく数えるための原則を自ら設定し、それによって主体的に取り組もうとする。また、順列、円順列、重複順列のそれぞれの違いや適用条件について関心を持ち、その違いを明確に把握しようと努める。【主】 	ノート 課題
	単元テスト	1		○	○		テスト	

場合の数と確率	7. 確率の意味 8. 確率の計算 9. 確率の基本性質 10. 和事象の確率 11. 余事象の確率 12. 独立な試行の確率 13. 反復試行の確率 14. 条件付き確率 15. 期待値	4	9月	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> • 確率の意味を理解し、事象を集合で表したり、事象の確率を求めたりすることができる。確率の加法定理を用いて確率を計算できる。独立な試行の定義、反復試行の確率、条件付き確率の意味と確率の乗法公式、期待値の定義と計算方法を理解し、それぞれを求めることができる。【知】 • 同様に確からしいという考え方を利用して、事象の確率の基本を論理的に説明できる。積事象、和事象、排反、空事象、確率の基本性質を集合と関連付けて考察できる。補集合をもとに余事象を考察し、独立な試行の結果起こる事象の確率や、反復試行の確率を組合せの考え方と関連させて考察できる。さらに、期待値の概念を具体的な問題の意思決定に活用し、判断することができる。【思】 • 身近な試行によって起こる事象と関連付けながら、実験などを通じて確率という概念に関心を持とうとする。余事象を用いて確率を求めることの効率の良さに気づき、これを積極的に活用しようとする。また、反復試行の確率について、具体的な事象と結びつけて興味をもって調べようとする。【主】 	ノート 課題
	単元テスト	1		○	○		テスト	

図形の性質	1. 角の2等分線と比 2. 三角形の外心、内心、重心 3. チェバの定理・メネラウスの定理 4. 円周角の定理 5. 円に内接する四角形 6. 円と接線 7. 接線と弦の作る角 8. 方べきの定理 9. 2つの円 12. 空間における直線と平面 13. 多面体	6	10月	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の五心(外心・内心・重心)、内角・外角の二等分線の性質、チェバの定理・メネラウスの定理を理解する。また、円周角の定理とその逆、円に内接する四角形の性質、円の接線の性質、接弦定理、方べきの定理を理解する。これらの知識と定理を用いて、線分の長さ、角の大きさ、辺の比、内分点・外分点の座標を求めることができる。【知】 ・図形の性質を証明する際、背理法などの間接的な証明法を適切に選択し、論理的な証明を展開することができる。円に内接する四角形の性質を円周角の定理を利用して考察できる。また、方べきの定理が円周角の定理や円に内接する四角形の性質を用いて証明されることを理解し、図形的な条件から定理を適用して問題を考察することができる。【思】 ・チェバの定理やメネラウスの定理の証明方法に関心を持ち、論理構造を理解しようとする。接弦定理を円周角の定理を利用して自ら証明しようとする。また、2つの円の位置関係を、中心間の距離と半径の関係から判定できることに着目し、その条件について主体的に考察しようとする。【主】 	ノート 課題
	単元テスト	1		○	○			テスト

共通テストに向けて							<ul style="list-style-type: none"> 数学Iと数学Aで学習したすべての単元（数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、場合の数と確率、データの分析など）の基本的な概念、公式、原理・法則を統合的に整理し、複合的な問題に対しても正確に適用し、多角的な計算をミスなく処理することができる。【知】 共通テスト形式の長文問題や複数の単元にまたがる問題に対し、与えられた情報の本質を見抜き、最適な数学的ツールや定理（例：2次関数の決定、正弦・余弦定理、確率の乗法定理など）を選択・統合し、論理的な解法を構成することができる。また、時間的制約を意識して最も効率的な解法を判断し、解答を導くことができる。【思】 既習の知識・技能を総合的に活用し、粘り強く難解な問題の解決に取り組もうとする。自己評価を通じて弱点分野や時間配分の課題を把握し、継続的な改善を図ることで、本番で最大限の力を発揮しようと努める。【主】 	ノート 課題
	合計	70	14	11月 12月 1月	○	○	○	

令和8年度 教科年間計画

教科	公民	3年	使用 教材	【教科書】詳述政治・経済 (実教出版)
科目	政治経済	3単位		【副教材】詳述政治・経済 演習ノート (実教出版) 2026ズームアップ政治・経済資料 (実教出版)

科目の目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・ 技能	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付け、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養っているか。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、概念などを適切に活用して多面的・多角的に考察し、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、考察、構想したことを筋道に立てて効果的に説明し、それらを基に議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を持っている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や概念や理論などを活用して、現実社会に見られる課題を把握し、説明するし、身に付けた判断基準を根拠に構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し判断して、合意形成や社会参画に向かう力を持っている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的 に学習に 取り組む 態度	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めているか。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとする態度を持ち、多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとする態度で学習に向かっている。国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度が備わっている。日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めて学習に臨んでいる。	左側の求められる基準に達していない。

		に、より積極的な役割を果たそうとする自覚して学習に取り組んでいる。	
--	--	-----------------------------------	--

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
民主政治の基本原則	政治と法	2	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 政治と国家がどのようなものであるかを理解している。 法の意義と役割について、道徳などほかの社会規範との対比しながら理解している。 私法の基本原則として自由で平等な個人による私的自治の原則があることについて理解している。 	単元テスト① プリントノート
	民主政治と人権保障の発展	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 民主政治の歴史的な発展と社会契約説の考え方について理解している。 法の支配の考え方と自由権や社会権をはじめとする基本的人権の歴史的な発展、立憲主義の考え方について理解している。 ホッブズ、ロック、ルソーの考え方の共通点と相違点を適切に読み取っている。 	単元テスト① プリントノート
	国民主権と民主主義の発展	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 議会制民主主義と多数決原理、民主政治の課題について理解している。 立憲主義と民主主義の関係について、本文とコラムの記述から適切に読み取っている。 	単元テスト① プリントノート
	世界の政治制度	2	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 権力分立の考え方と議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度の特徴について理解している。 それぞれの政治制度の特徴を比較の観点から適切に読み取っている。 	単元テスト① プリントノート
単元テスト①		1	○	○			

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
日本国憲法の基本的性格	日本国憲法の成立	2	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 二つの憲法の原理と相違点について理解している。 憲法の最高法規性と憲法改正の手続きについて理解している。 	単元テスト② プリントノート
	平和主義	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の平和主義の内容と日米安保体制が生まれた背景について理解している。 1990年代以降の安全保障体制の変容とこんにちの課題について理解している。 自衛権に関する政府解釈の変化を適切に読み取っている。 	単元テスト② プリントノート
	基本的人権の保障	3	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 自由権・平等権・社会権などの諸権利の内容について理解している。 冤罪や死刑制度、さまざまな差別、生存権の保障など、人権に関する現実社会の課題について理解している。 各種の判例から、人権を守ろうとする法理がどのように成立したかを適切に読み取っている。 	単元テスト② プリントノート
	人権の広がり	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 環境権・知る権利・プライバシーの権利などの新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解している。 	単元テスト②

					<ul style="list-style-type: none"> ・社会的権力による人権侵害の課題や人権の国際化の動きについて理解している。 ・公共の福祉の内容について理解している。 ・各種の判例から、人権を守ろうとする法理がどのように成立したかを適切に読み取っている。 	プリント ノート
単元テスト②		1	○	○		

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
日本の政治機構	立法	2	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・国会の役割や権限について理解している。 ・二院制の存在意義と課題について、p.51の注①の記述から適切に読み取っている。 ・委員会制度や党議拘束などについて理解している。 	単元テスト③ プリント ノート
	行政	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・議院内閣制のしくみや内閣の権限について理解している。 ・官主導社会の特徴と課題、その転換に向けたさまざまな改革について理解している。 ・議員立法と政府立法に関する情報を適切に読み取っている。 	単元テスト③ プリント ノート
	司法	2	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・司法権の独立や裁判のしくみ、各裁判所の役割について理解している。 ・違憲審査権について理解している。 ・裁判員制度や検察審査会の意義と役割について理解している。 	単元テスト③ プリント ノート
	地方自治	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治が住民自らの意思と責任の下で行われるものであり、民主政治の基盤をなすものであることについて理解している。 ・自治基本条例の制定や自治立法、住民投票などの新しい地方自治の動きについて理解している。 ・地方公共団体の長と議会の関係を適切に読み取っている。 ・地方財政の課題を適切に読み取っている。 	単元テスト③ プリント ノート
単元テスト③		1	○	○			

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
現代日本の政治	戦後政治の歩み	2	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・政党の役割と意義について理解している。 ・日本の政党政治の現状と課題について理解している。 ・政治改革以降の政党政治の特徴を適切に読み取っている。近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っている。 	単元テスト④ プリント ノート
	選挙制度	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・日本の選挙制度の種類とそれぞれの特徴、議員定数の不均衡などの課題について理解している。 ・ドント式による計算方法を理解している。 ・政党助成金の意義と課題について理解している。 	単元テスト④ プリント ノート

	政治参加と世論	2	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・マス・メディアや SNS が世論形成と政治にもたらす影響について理解している。 ・投票率の低下や無党派層の増加などの課題について理解している。 ・政治的無関心の広がりや投票率との関係を適切に読み取っている。 	単元テスト④ プリント ノート
単元テスト④		1	○	○			
単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
経済社会の変容	経済活動の意義	2	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・生産と消費、分業と交換といった経済活動の基本概念について理解している。 ・選ばれなかった選択肢の便益を含めた概念としての機会費用と、選択した結果得られる便益を比較衡量して行う必要があることについて理解している。 ・機会費用の考え方について計算することができる。 	単元テスト⑤ プリント ノート
	経済社会の形成と変容	1	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解している。 ・社会主義が目指したものと現実世界における社会主義経済の展開について理解している。 ・政府の規模と経済への影響について読解することができる。 	単元テスト⑤ プリント ノート
現代経済のしくみ	市場機構	1	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・経済主体間において、財・サービスと貨幣がそれぞれの市場で交換されることを通して、経済社会全体の経済循環を構成していることや、この流れは海外とも関わっていることについて、各経済主体の役割とともに理解している。 ・経済活動と市場の関係を、市場構造の変動、具体的な市場における価格形成の事例を取り上げながら考察することを通して理解している。 ・資源の効率的な分配をもたらす市場の機能について理解している。 ・寡占や独占、外部不経済、情報の非対称性など市場機能の限界について理解している。 	単元テスト⑤ プリント ノート
	現代の企業	1	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・現代の企業の区分、株式会社の特色について理解している。 ・企業の社会的責任とはどのようなものを指すのか、具体的な内容を理解している。 ・諸資料から日本企業経営の特徴を読解することができる。 	単元テスト⑤ プリント ノート
	国民所得と経済成長	2		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・GDP などの経済指標の使い方やそれぞれの限界について理解している。 ・経済成長を図るためには家計や企業の個別の創意、工夫、新機軸の導入に加えて、政府の適切な支援や政策が必要となることについて、理解している。 ・インフレーションとデフレーションの概念を理解している。 ・国民生活の安定のためには、物価や景気の動向を判断しながら政府や中央銀行の適切な政策が必要となることについて理解している。課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。 	単元テスト⑤ プリント ノート
	金融のしくみ	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・金融の仕組みと金融機関の役割、通貨価値の安定や景気安定のための金融政策や金融の自由化などの動きについて理解している。 ・日本銀行の金利調整について、日本銀行の公開市場操作のしくみを理解している。 	単元テスト⑤ プリント ノート

					<ul style="list-style-type: none"> ・各国の政策金利の推移について、読解している。 ・金融の国際化が進む現在、金融の公共性に求められているものを理解している。 	
	財政のしくみ	2	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・財政活動に際しては、財政に投入された費用に対してそれから得られる効果を比較しながら最適な政策を選択していく必要があることを理解している。 ・国民生活における租税の意義と役割に関心をもち、公正で適切な負担と受益の関係に基づいて税制度が作られることについて理解している。 ・財政改革の課題について、理解を深めている。 	単元テスト⑤ プリントノート
単元テスト⑤		1	○	○		

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
現代経済と福祉の向上	経済の停滞と再生	2	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・円高不況からバブル経済の発生と崩壊に至る背景や要因について理解している。 ・高度経済成長期、安定成長期、現在の成長率について、資料から傾向を適切に読み取り、把握している。 ・21世紀の景気拡大局面において成長を実感的ななかった理由を読み取ることができる。 ・日本経済が直面する課題にはどのようなものがあるか、理解している。 	単元テスト⑥ プリントノート
	日本の中小企業と農業	2	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・大企業と中小企業の違いを読み取ることができる。 ・後継者不足のために黒字経営であっても廃業を選ぶ中小企業がある状況を知り、事業承継が課題となっていることを理解している。 ・食料自給率に関する日本の傾向を読み取ることができる。 ・農業法人による大規模化や6次産業の進展、スマート農業の振興など、日本の農業の新しい流れについて理解している。 	単元テスト⑥ プリントノート
	国民の暮らし	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・消費者問題にはどのようなものがあるか理解している。 ・消費者保護基本法から消費者基本法にいたる消費者行政の内容を知り、求められる消費者像の変遷について理解している。 ・契約の効力が発生する要件や、消費者契約法に定められている契約取り消しの意義などについて理解している。 	単元テスト⑥ プリントノート
	環境保全と公害防止	2		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における公害の発生と原因を理解している。また、四大公害訴訟に関する表から、必要な情報を適切に読み取っている。 ・政府による公害対策や環境保全のための法整備について理解している。 ・自然と共生しつつ新しい地域発展を目指す試みである地域循環共生圏について理解を深めている。 	単元テスト⑥ プリントノート
	労使関係と労働条件の改善	2		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・労働基本権と労働三法の内容について理解している。 ・日本的雇用形態の特徴を理解しており、また、それらのあり方が崩れてきていることを理解している。 ・労働環境について、各国比較によって日本の特徴を適切に読み取り、まとめることができる。 ・技術革新によって多様な働き方が可能になっていることを理解している。 	単元テスト⑥ プリントノート

	社会保障の役割	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障の考え方を知り、それらが歴史的にどのように制度化されてきたかについて理解している。 ・日本の社会保障制度が諸外国との比較でどのようなものであるかを知り、また、その概要を理解している。 ・日本の年金制度の意義と課題について理解している。 ・日本の社会保障給付の特徴を適切に読み取っている。 	単元テスト⑥ プリント ノート
前期期末考査 (単元テスト⑥)		1	○	○			
単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
現代日本における諸課題の探究	地域社会の自立と政府	5	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の自立と政府における政治・経済の諸課題について、必要な知識を習得している。 ・地域社会の自立と政府における政治・経済の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめることができる。 	レポート ノート
	防災と安全・安心な社会の実現			○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・防災と安全・安心な社会の実現における政治・経済の諸課題について、必要な知識を習得している。 ・防災と安全・安心な社会の実現における政治・経済の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめることができる。 	レポート ノート
	歳入・歳出両面での財政健全化			○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・歳入・歳出両面での財政健全化における政治・経済の諸課題について、必要な知識を習得している。 ・歳入・歳出両面での財政健全化における政治・経済の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめることができる。 	レポート ノート
	産業構造の変化と企業			○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・産業構造の変化と企業における政治・経済の諸課題について、必要な知識を習得している。 ・産業構造の変化と企業における政治・経済の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめることができる。 	レポート ノート
	食料の安定供給の確保と持続可能な職業構造の実現			○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・食料の安定供給の確保と持続可能な職業構造の実現における政治・経済の諸課題について、必要な知識を習得している。 ・食料の安定供給の確保と持続可能な職業構造の実現における政治・経済の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめることができる。 	レポート ノート
	多様な働き方・生き方を可能にする社会			○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な働き方・生き方を可能にする社会における政治・経済の諸課題について、必要な知識を習得している。 ・多様な働き方・生き方を可能にする社会における政治・経済の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめることができる。 	レポート ノート
	少子高齢社会における社会保障の充実・安定化			○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会における社会保障の充実・安定化について、自助、共助及び公助による社会保障の考え方を参照させ、真に豊かで持続可能な福祉社会の実現という観点から探究している。 	レポート ノート
レポート提出			○	○		7つの課題の中から題材を選び、各自で情報を収集してまとめることができる。	

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
現代の国際政治	国際政治の特質と国際法	2	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・主権国家と国際社会の成り立ちを理解している。 ・国際法については統一的な立法機関がなく、国際司法裁判所の裁判も当事国の合意をもって始められるなど、強制力が十分には機能しないことや、国家間の関係を規律する法である国際法が、近年は個人、企業、国際機関などの国家以外のものも規律するようになってきていることを理解している。 ・領土問題については、国際平和の維持と安定のためにも、平和的な解決に向けて広い視野に立って継続的に努力する態度が必要であることについて理解している。 ・NGOをはじめ多様な主体が活動するなど、国際政治に変化が生じていることを理解している。 	単元テスト⑦ プリント ノート
	国際連合と国際協力	2	○			<ul style="list-style-type: none"> ・国際紛争の防止や解決に向けての行動などについての考察を通して、国際連合の普遍性と意義について理解している。 ・国際連合の専門機関などの活動が、人類の福祉に大きな貢献をしてきたこと、国際連合による平和維持活動が世界の平和に大きく寄与していることについて理解している。 	単元テスト⑦ プリント ノート
	現代国際政治の動向	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦構造の概要について理解している。 ・冷戦終結後に生じた国際政治上の力学変化について理解を深めている。 ・中国やロシアなどの大国が領有権紛争を起こしていることや、中東の民主化運動により地域全体が不安定化していることなど、今日的な国際政治の課題を理解している。 	単元テスト⑦ プリント ノート
	核兵器と軍縮	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・核抑止論の考え方について理解している。 ・安全保障のジレンマのために軍縮が進めにくくなっている構造について理解している。 ・NPTに参加しない国があることや、CTBTの発効の見通しが立たない状況など、核廃絶に向けて課題が残されていることを理解している。 ・核兵器禁止条約の歴史的意義について理解するとともに、核保有国や日本が参加していない理由や課題についても理解している。 	単元テスト⑦ プリント ノート
	国際紛争と難民	2		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦終結後に地域紛争と民族紛争が多発したことを要因とともに理解している。 ・難民や国内避難民の現状について、資料から情報を適切に読み取っている。 ・マイノリティを抑圧しないために、多文化共生主義に立つことが重要であることを理解している。 ・パレスチナ問題について、問題の所在や解決に向けた動きの推移について理解している。 	単元テスト⑦ プリント ノート
	国際政治と日本	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸国との国交正常化が進められる一方、賠償のあり方をめぐって裁判が繰り返されるなど、根本的な解決には至っていない現状を理解している。 ・北朝鮮による拉致被害と人権侵害について、国際連合も日本を支持する決議を出しているなど、解決が望まれていることを理解している。 ・日本国憲法の平和主義の理解を基に、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について理解を深めている。 	単元テスト⑦ プリント ノート

						・日本の領土問題について、必要な情報を収集している。	
単元テスト⑦		1	○	○			
単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
現代の国際経済	商品・資本の流れと国際収支	2		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易が、国際分業と交換から成り立っていること、現在の世界及び日本の貿易の現状と動向について、具体的事例や客観的な資料を基に理解している。 ・国際収支の考え方を理解している。また、日本の国際収支表を見て、時代に追って貿易のあり方にどのような特徴があったかを読み取ることができる。 ・財やサービス、資本の出入りや各国の物価水準、金利差など様々な要因が為替レートに影響を与えていること、また、貿易などに基づく取引だけでなく、投機的な国際間の巨額の資金移動が為替レートを大きく変動させ、各国経済や産業、国民生活に大きな影響を与えること、為替相場の安定が国際的に重要な目標になっていることを理解している。 	単元テスト⑧ プリント ノート
	国際経済体制の変化	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・IMFとGATTに代表される国際経済体制について、その概要を理解している。 ・南北問題の背景と現状について理解している。 ・資源産出国が自国の権益を保護しようとした歴史的な経過について理解している。 ・GATT、WTOにおける多角的交渉が目指したものについて理解している。 ・先進国にも保護貿易的な動きが起きていることについて、その背景を理解している。 	単元テスト⑧ プリント ノート
	グローバル化と金融危機	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・金融のグローバル化の結果、資本の国際取引が活発になったが、その一方で投機的資金の移動が実体経済を脅かすこともあることを理解している。 ・自由な資本移動が国際金融の不安定性を招くおそれがあること、その対応策として、国際的な資本取引の規制やデジタル課税を導入するルール作りが進められていることを確認する。 ・デジタル技術やオンラインビジネスの重要性が大きな価値を持ち、プラットフォームとされる企業が強い力を示していることを理解している。 	単元テスト⑧ プリント ノート
	地域経済統合と新興国の台頭	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域でどのような経済統合が形成されていったかについて理解している。 ・EUを例として、どのように統合が深化していったかを理解している。 ・BRICSともいわれる新興国の中でも、とくに中国が世界的な影響力を強めており、一帯一路構想の下で一大経済圏を形成しようとしていることを理解している。 ・アメリカと中国の経済状況の違いを適切に読み取っている。 	単元テスト⑧ プリント ノート
	地球環境とエネルギー	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題の国際的な対策のあり方について理解している。 ・低炭素社会や脱炭素社会が目指すものについて理解している。 ・世界と日本のエネルギー政策や現状について適切に読み取っている。 	単元テスト⑧ プリント ノート

	経済協力と人間開発の課題	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ODA から SDGs につらなる援助と開発の過程について理解している。 ・先進国による援助の中心として ODA がおこなわれてきたことを理解している。 ・日本の ODA の課題を適切に読み取っている。 ・アフリカの現状と課題を読み取っている。 	単元テスト⑧ プリント ノート
単元テスト⑧		1	○	○			

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
国際社会の諸課題の探究	紛争の解決に向けた国際社会の取り組み	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・紛争の解決に向けた国際社会の取り組みの諸課題について、必要な知識を習得している。 ・紛争の解決に向けた国際社会の取り組みの諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめることができる。 	単元テスト⑧ プリント ノート
	グローバル化にともなう人々の生活や社会の変容	2	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化にともなう人々の生活や社会の変容の諸課題について、必要な知識を習得している。 ・グローバル化にともなう人々の生活や社会の変容課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめることができる。 	単元テスト⑧ プリント ノート
	イノベーションと成長市場	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・イノベーションと成長市場の諸課題について、必要な知識を習得している。 ・イノベーションと成長市場の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめることができる。 	単元テスト⑧ プリント ノート
	地球環境と資源・エネルギー問題	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境と資源・エネルギー問題の諸課題について、必要な知識を習得している。 ・地球環境と資源・エネルギー問題の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめることができる。 	単元テスト⑧ プリント ノート
	国際経済格差の是正と国際協力	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済格差の是正と国際協力の諸課題について、必要な知識を習得している。 ・国際経済格差の是正と国際協力の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめることができる。 	単元テスト⑧ プリント ノート
	持続可能な国際社会づくり	2	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な国際社会づくりの諸課題について、必要な知識を習得している。 ・持続可能な国際社会づくりの諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめることができる。 	単元テスト⑧ プリント ノート
学年末考査 単元テスト⑨		1	○	○			
時数合計		105					

令和8年度 教科年間計画

教科	家庭	3年	使用	
科目	生活教養	2単位	教材	【副教材】楽しく学べるマナーの基本

科目の目標

家庭生活や将来の仕事に必要なマナーを身につけるとともに、社会人に必要な教養と生活を豊かにするための実践的な技術を身につける。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	生活を営むために必要な基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。	自立した生活を送るために必要な知識を身につけ、それらに関わる技能も身につけている。	自立した生活を送るために必要な知識を身につけている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	生活上の課題を見だし、それを解決する方法を具体的に表現できる。学んだことを現在及び将来の生活に結びつけて考えることができる。	生活課題を見だし、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど課題を解決する力を身につけている。	生活課題を見だし、解決策を構想することができる。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り 組む態度	生活の充実向上を目指し主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	多様な意見や価値観を取り入れながら、課題解決に主体的に取り組んでいる。 将来の家庭生活や職業生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	多様な意見や価値観を取り入れながら、課題解決に主体的に取り組んでいる。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
高校生としてのマナー	身だしなみの基本	3	○	○	○	身だしなみのマナーを理解する。ネクタイを結べるようになる。	実技 テスト
	敬語の使い方	3	○	○	○	状況に合わせた正しい言葉使いができるようになる。	単元 テスト
	面接の受け方	8	○	○	○	面接のマナーを学びスムーズな受け答えができるようになる。	ワーク シート
社会人としてのマナー	電話のマナー	3	○	○	○	電話の受け方、取り次ぎ方を学び、実践できるようになる。	実技 テスト
	接客のマナー	3	○	○	○	接客する上での正しい言葉遣いを学び、実践できるようになる。	単元 テスト
	ビジネスマナー	5	○	○	○	名刺交換やメールの送り方などビジネスシーンで必要となる技能を身につける。	ワーク シート
衣生活をつくる	裁縫の技術を身につける	15	○		○	制作に必要な用具の使い方を理解し、生活に必要な技術を身につける。	実技 テスト 作品
子どもや高齢者との接し方	子どもとの接し方	3	○	○	○	子どもの特徴を理解し、子どもの視点に立って接することができるようになる。	単元 テスト
	高齢者との接し方	3	○	○	○	高齢者の特徴を理解し、高齢者の視点に立って接することができるようになる。	ワーク シート
食事のマナー	箸使いの基本	1	○		○	正しい箸使いができるようになる。	単元 テスト
	和食のマナー	2	○		○	日本の食文化とマナーを理解する。	ワーク シート
	西洋料理のマナー	2	○		○	西洋料理の食文化とマナーを理解する。	
	中華料理のマナー	2	○		○	中華料理の食文化とマナーを理解する。	
	調理の基礎	10	○		○	調理における実践的な知識と技術を身につける。	
手紙の書き方のマナー	手紙やお礼状の書き方	1		○	○	ビジネスや日常生活における正しい手紙の書き方や季節の行事等の用途に応じた手紙の書き方を学ぶ。	単元 テスト

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
人生の節 目のしき たり	贈り物のマナー	1	○		○	人に物を贈るときのマナーを理解する。	単元 テスト ワーク シート
	結婚式や葬儀のマナー	1		○	○	結婚式や葬儀など伝統的なしきたりについて理解し、社会人としての振るまいができるようになる。	
	場に合った服装の整え方	1	○		○	それぞれの場に相応しい装いについて基本的な考えやマナーを理解する。	
	節目のお祝い	1	○		○	節目ごとのお祝いを理解する。	
国際人としてのマナー	知っておくと良い英語の表現	1		○	○	知っておくと便利な英語表現を身につけ、実践できるようになる。	単元 テスト ワーク シート
	国際社会でのマナー	1	○	○	○	外国人と接する際のマナーを身につけ、実践できるようになる。	
時数合計		70					

令和8年度 教科年間計画

教科	理科	3年	使用	【教科書】 生物（啓林館）
科目	生物	4単位	教材	【副教材】 なし

科目の目標

- ・雄武町の自然とのつながりを常に意識し、生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験や、実験のデータなどの分析を行い、生物学的に探究する能力と態度を身につける。
- ・"進化"の視点を重視し、生物の共通性がある意味を理解し、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
① 知識・技能	生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を十分に身に付けている。	生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	基準に達していない
② 思考力 判断力 表現力	生物の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	生物の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に深く探究している。	生物の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	基準に達していない
③ 主体的に学習に取り組む態度	実験や調べ活動に主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	実験や調べ活動に主体的に関わり、学習した知識を正しく使うことができ、科学的に探究しようとしている。	実験や調べ活動に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	基準に達していない

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
第1部 生物の進化 (25)	第1章 生物の進化(4) 第1節 生命の起源 第2節 生物界の変遷と地球環境の変化	6	○	○		・生命の起源と生物進化の道筋について学び、生物進化がどのようにして起こるのかを理解しようとしている。(知)(思) ・生命の起源を主体的に考察して表現しようとしている。(主)	・ワークシート ・実験 ・単元テスト
	第2章 有性生殖と遺伝的多様性(7) 第1節 有性生殖 第2節 遺伝子の多様な組み合わせ	9	○		○	・減数分裂による遺伝子の分配と受精により、遺伝的に多様な組み合わせをもつ子が生じることを理解するとともに、遺伝子の連鎖と組換えを理解しようとしている。(知)(思) ・遺伝の連鎖を主体的に考察して表現しようとしている。(主)	・ワークシート ・実験 ・単元テスト
	第3章 進化のしくみ(7) 第1節 突然変異と進化 第2節 進化の要因	9	○	○	○	・進化がどのように裏づけられ、そのしくみがどのように説明されているか理解しようとしている。(知)(思) ・突然変異と進化について、主体的に考察して表現しようとしている。(主)	・ワークシート ・実験 ・単元テスト
	第4章 生物の系統 第1節 生物の分類と系統 第2節 3ドメイン 第3節 細菌ドメイン 第4節 アーキアドメイン 第5節 真核生物ドメイン 第6節 人類の起源と進化	9	○	○	○	・生物の分類の方法、系統を明らかにする方法、現在明らかになっている生物の系統について理解しようとしている。(知)(思) ・生物の系統を变形菌の観察を通じて、主体的に考察して表現しようとしている。(主)	・ワークシート ・実験 ・単元テスト
第2部 生命現象と物質 (22)	第5章 生命と物質 第1節 物質と細胞 第2節 生命現象とタンパク質	14	○	○	○	・細胞小器官や細胞の働きとタンパク質の働きを理解しようとしている。(知)(思) ・細胞の特徴を主体的に考察して表現しようとしている。(主)	・ワークシート ・単元テスト
	第6章 代謝(9) 第1節 代謝とエネルギー 第2節 呼吸 第3節 光合成	10	○	○	○	・光合成によって光エネルギーを用いて有機物がつくられ、呼吸によって有機物からエネルギーが取り出されるしくみを理解しようとしている。(知)(思) ・代謝について主体的に考察して表現しようとしている。(主)	・ワークシート ・実験 ・単元テスト
第3部 遺伝情報の発現と発生 (28)	第7章 遺伝現象と物質(9) 第1節 遺伝情報の複製 第2節 遺伝子の発現 第3節 遺伝子の発現調節	10	○	○	○	・DNAの構造、遺伝情報の複製・転写・翻訳のしくみ、遺伝子発現の調節を理解しようとしている。(知)(思) ・遺伝現象と物質を主体的に考察して表現しようとしている。(主)	・ワークシート ・単元テスト
	第8章 発生と遺伝子の発現(13) 第1節 動物の配偶子形成と受精 第2節 初期発生の過程 第3節 発生と遺伝子の発現	14	○	○	○	・配偶子形成と受精、卵割から器官分化の過程について学び、細胞の分化と形態形成のしくみを理解しようとしている。(知)(思) ・発生と遺伝子の発現を主体的に考察して表現しようとしている。(主)	・ワークシート ・実験 ・単元テスト
	第9章 バイオテクノロジー(6) 第1節 遺伝子を扱った技術	6	○	○	○	・バイオテクノロジーの原理とその応用を理解しようとしている。(知)(思) ・最新のバイオテクノロジーを主体的に考察して表現しようとしている。(主)	・ワークシート ・単元テスト
前期期末考査		1	(76)				

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
第4部 生物の環境 応答 (27)	第10章 刺激の受容と反応(11) 第1節 刺激の受容 第2節 神経 第3節 神経系 第4節 効果器	13	○	○	○	・外界の刺激を受容し、神経系を介して、反応するしくみを学び、刺激に対する反応としての動物個体の行動について理解しようとしている。(知)(思) ・フタの眼球の解剖を通じて、神経系と効果記のつながりを、主体的に考察して表現しようとしている。(主)	・ワークシート ・実験 ・単元テスト
	第11章 動物の行動(4) 第1節 生得的行動 第2節 学習	6	○	○	○	・神経系と関連づけられる動物の行動を主に扱うこととする。行動に生まれつきのものと学習によるものがあることを理解しようとしている。(知)(思) ・変形体の観察を通じて動物の行動を、主体的に考察して表現しようとしている。(主)	・ワークシート ・実験 ・単元テスト
	第12章 植物の環境応答(12) 第1節 植物の発芽と発生 第2節 発芽と成長	14	○	○	○	・植物の配偶子形成と受精、胚発生と種子の形成、花器官の分化について理解しようとしている。(知)(思) ・植物が周りの環境からの刺激に反応するしくみを学び、その際に植物ホルモンや光受容体が関係することを理解しようとしている。(知)(思) ・植物の環境応答を、主体的に考察して表現しようとしている。(主)	・ワークシート ・実験 ・単元テスト
第5部 生態と環境 (17)	第13章 個体群と生物群集(9) 第1節 個体群とその変動 第2節 種内関係 第3節 種間関係	10	○	○	○	・生物の生活に影響を及ぼしている環境と生物との関係について理解する。同種の個体や異種の個体が相互作用を及ぼし合っていることを理解する。また、個体群レベルから順にそれぞれの段階で繰り広げられる生物の様々な営みと、環境との関係について理解しようとしている。(知)(思) ・個体群と生物群集を、主体的に考察して表現しようとしている。(主)	・ワークシート ・実験 ・単元テスト
	第14章 生態系(8) 第1節 生態系と物質生産 第2節 生態系と生物多様性	9	○	○	○	・生態系における物質生産とエネルギー効率について学ぶとともに、生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解し、生物多様性の重要性を理解しようとしている。(知)(思) ・生態系を、主体的に考察して表現しようとしている。(主)	・ワークシート ・実験 ・単元テスト
時数合計		140	(44)				

令和8年度 教科年間計画

教科	地理・歴史	3年	使用 教材	【教科書】高等学校 日本史探究（清水書院）
科目	日本史探究	3単位		【副教材】共通テスト対策 トライアル日本史（浜島書店） 新詳日本史（浜島書店）

科目の目標

- ・我が国の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し、調査や諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる。
- ・我が国の歴史の展開に関する事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、歴史的な見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察、構想、表現する。
- ・我が国の歴史の展開に関する諸事象について、よりよい国家や社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、我が国や他国の伝統や文化を尊重する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・ 技能	我が国の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、調査や諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	我が国の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、調査や諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	我が国の歴史の展開に関する諸事象について、総合的に捉えて理解しているとともに、調査や諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を調べまとめることができる。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	我が国の歴史の展開に関する事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	我が国の歴史の展開に関する事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論できる	我が国の歴史の展開に関する事象の意味や意義を現代とのつながりなど概念を活用して考察したり、歴史に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したり、考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論できる	左側の求められる基準に達していない。
③主体的 に学習に 取り組む 態度	我が国の歴史の展開に関する諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	我が国の歴史の展開に関する諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決する姿勢が整っている	我が国の歴史の展開に関する諸事象について社会の形成者として、社会の実現を視野に課題を主体的に解決することを目指している。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
第1章 黎明期の 日本列島 と歴史的 環境	1 日本列島の 旧石器文化とは どのようなもの か	1	○		○	自然環境と人間生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。黎明期の日本列島と歴史的環境について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。 第2章 歴史資料と原始・古代の展望 原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身につける。前章の学習を踏まえ、黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する歴史資料と原始・古代の展望について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	単元テスト① プリント ノート
	2 縄文人はどの ような暮らしを していたのか	1	○		○		
	3 弥生人はどの ような暮らしを していたのか	1	○	○			
単元テスト①		1	○	○			
第3章 古代の国 家・社会 の展開と 画期 第1節 古代国家 の形成と 東アジア	4 倭国は東アジ ア世界とどうか かわったのか	1	○	○		国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解する。 中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 古代国家の形成、古代の政治・社会や文化の特色について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	単元テスト② プリント ノート
	5 前方後円墳は 何をあらわして いるのか	1	○		○		
	6 ヤマト政権は どのように倭国 をまとめていた のか	1	○	○			
	7 飛鳥文化を生 み出した背景と は	1		○	○		
	8 律令国家はど のように形成さ れたのか	1	○				
	9 律令体制の仕 組みとは	1	○	○			
	10 奈良時代の 政治はどのよう に推移したのか	1	○	○			

	11 天平文化を生み出した背景とは	1	○		○		
単元テスト③		1	○	○	○		
2節 古代国家の推移と社会の変化	12 律令政治の再建はどのようにおこなわれたのか	1	○	○		<p>貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の誕生などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。</p> <p>地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。</p> <p>律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。</p>	単元テスト③ プリント ノート
	13 平安初期の文化はどのような国際環境で育まれたのか	1	○	○			
	14 摂関時代の政治はどのように推移したのか	1	○		○		
	15 東アジアの変動と国風文化にはどんな関係があるのか	1	○		○		
単元テスト③		1	○	○			
第2編 中世の日本と世界 第1章 中世への転換と歴史的環境	16 中世社会はどのようにして成立したのか	1	○		○	<p>政治主体や土地支配の変容を基に古代から中世への時代の転換を理解する。</p> <p>権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容について、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>古代から中世への転換と歴史的環境について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。</p>	単元テスト④ プリント ノート
	17 国家の武力はだれがになったのか	1	○	○			
	18 中世の国家はどのように形成されたのか	1		○	○		
第2章 歴史資料と中世の展望	19 「武者の世」はどのようにしてはじまったのか	1		○	○	<p>中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身につける。</p> <p>前章の学習を踏まえ、古代からの時代の変化に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。</p> <p>歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。歴史資料と中世の展望について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。</p>	
単元テスト④		1	○	○			
第3章 中世の国家・社会	20 鎌倉幕府はどのようにして成立したのか	1	○		○	<p>武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸長、中世の社会や文化の特色を理解する。</p> <p>公武関係の変化、宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への</p>	単元テスト⑤ プリン

の展開と 画期 第 1 節 武家政権 の成立と 展開	21 鎌倉幕府は どのように勢力 を拡大したのか	1	○		○	影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 武家政権、宗教と文化の展開について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	ト ノート
	22 鎌倉仏教の 特色は何か	1	○		○		
	23 鎌倉文化の 特色は何か	1	○		○		
	24 モンゴル (元) はなぜ日本 を攻め取れなか ったのか	1	○	○			
	25 鎌倉幕府は なぜ滅びたのか	1	○	○			
単元テスト⑤		1	○	○	○		
第 2 節 武家政権 の変容と 中世の社 会	26 建武政権は なぜ崩壊したの か	1	○	○		政治や文化の多元化、多様化、国際関係の変化などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。 社会や経済の変化と影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化の関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 武家政権や社会の変容と文化の特色について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	単元テ スト⑤ プリン ト ノート
	27 室町幕府の 政治はどのよう に推移したのか	1	○		○		
	28 元寇後の東 アジアの交流は どのようなもの か	1	○	○			
	29 一揆はどの ようにして生ま れ、中世の自治を 支えたのか	1		○	○		
	30 中世の産業 は民衆生活をど のように豊かに したのか	1	○	○			
	31 中世の商 業・流通はどのよ うにうごいたの か	1			○		
	32 戦国時代は なぜはじまった のか	1		○	○		

	33 戦国大名の領国支配の国際的背景とは	1	○	○			
	34 14~16世紀の文化の特色は何か		○		○		
(単元テスト⑤)		1	○	○			
前期期末考査		1	○	○	○		
第3編 近世の日本と世界	35 近世初頭の東アジア情勢はどのようなものか	1	○	○		<p>政治・経済政策や対外関係を基に中世から近世への時代の転換を理解する。村落や都市の支配の変化、アジアやヨーロッパとの交流などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容について、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>中世から近世への転換と歴史的環境について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。</p> <p>近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身につける。</p> <p>前章の学習を踏まえ、中世からの時代の変化に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。</p> <p>歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する</p>	単元テスト⑥ プリント ノート
第1章 近世への転換と歴史的環境	36 信長と秀吉はどのようにして天下を統一したのか	1	○		○		
第2章 歴史資料と近世の展望	37 秀吉の政治と対外政策はどのようなものか	1	○	○			
	38 信長・秀吉の時代の文化の特色は何か	1	○		○		
単元テスト⑥		1	○	○	○		
第3章 近世の国家・社会の展開と画期	39 幕藩体制はどのようなものか	1	○	○		<p>支配秩序や対外関係、技術・産業・文化の展開などを基に、幕藩体制の確立や近世の社会と文化の特色を理解する。</p> <p>織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。</p> <p>幕藩体制の確立や近世の社会と文化について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。</p>	単元テスト⑦ プリント ノート
第1節 幕藩体制の成立と近世の社会	40 江戸時代の社会はどのようなものか	1	○	○			
	41 近世の国際関係はどのように形成されたのか	1	○	○			
	42 江戸幕府の政治はどのように推移したのか	1	○		○		
	43 江戸時代の産業はどのように発展したのか	1	○		○		

	44 江戸時代の交通と都市はどのように発達したのか	1	○		○		
	45 儒学と学問はどのように展開したのか	1	○	○			
	46 江戸時代中期までの文化の特色は何か	1	○		○		
単元テスト⑦		1	○	○	○		
第2節 幕藩体制の動揺と 社会の変化	47 吉宗はどのような政治をおこなったのか	1	○		○	<p>政治体制や社会の動揺、産業・学問の発展、庶民の生活や文化などを基に、幕藩体制の変容、庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。</p> <p>社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。</p> <p>近世の政治や社会の変容、近代化の基盤について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。</p>	単元テスト⑧ プリント ノート
	48 村と町はどのように姿をかえていったのか	1		○	○		
	49 田沼の政治や寛政の改革は何をめざしたのか	1	○	○			
	50 外国船の接近は幕府にどのような影響をあたえたのか	1	○	○			
	51 幕府・諸藩はどのような改革をおこなったのか	1		○	○		
	52 近世後期の文化の特色は何か	1	○		○		
	53 近世後期の学問や思想はどのように発達したのか	1	○	○			
単元テスト⑧		1	○	○	○		
第4編 近現代の 地域・日 本と世界 第1章	54 日本はなぜ開港したのか	1	○	○		<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつ</p>	単元テスト⑨ プリント ノート
	55 開港は国内にどのような影響をあたえたのか	1	○	○	○		

近代への 転換と歴 史的環境	か					ながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか	
	56 尊王攘夷運動はどのように展開したのか	1	○		○	第2章 歴史資料と近代の展望 近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身につける。	
	57 江戸幕府はどのように滅びたのか	1	○	○		前章の学習を踏まえ、時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。 歴史資料と近代の展望について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	
単元テスト⑨		1	○	○	○		
第3章 近現代の 地域・日 本と世界 の画期と 構造 第1節 近代国家 の形成	58 新政府はどのような国家をめざしたのか	1		○	○	明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、文明開化の風潮、条約改正などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変容、欧米の思想・文化の影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と諸外国との関係の確立について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。明治維新や国民国家の形成、産業の発展の経緯、近代の文化の特色について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	単元テ スト⑩ プリン ト ノート
	59 明治政府はどのような経済政策を進めたのか	1	○		○	日清・日露戦争などを基に、立憲体制の推移や展開、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。日清・日露戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。	
	60 明治政府の宗教・文教政策はどのようなものだったのか	1	○	○			
	61 明治初期の対外関係はどのように変化したのか	1	○		○		
	62 欧米文化は社会にどのような影響をあたえたのか	1	○		○		
	63 自由民権運動はなぜはじまったのか	1	○	○			
	64 自由民権運動はなぜ衰退したのか	1	○	○			
	65 立憲体制はどのようにして確立したのか	1	○	○			

	66 条約改正はどのようにして達成されたのか	1	○		○		
	67 日清戦争後の国内政治はどのようなものか	1	○		○		
	68 日清戦争はなぜおきたのか	1	○		○		
	69 日清戦争後の東アジア情勢はどのように推移したのか	1	○	○			
	70 日露戦争はどのような戦争だったのか	1		○	○		
	71 日露戦争後の東アジア情勢はどのように変化したのか	1		○	○		
	単元テスト⑩	1	○	○	○		
第2節 政党政治と大衆社会	76 政党政治はどのように発展したのか—明治から大正へ	1		○	○		
	77 第一次世界大戦に日本はどのようにかわったのか	1	○	○			
	78 第一次世界大戦は日本にどのような影響をあたえたのか	1		○	○		
	79 第一次世界大戦後の日本外交はどのようなものか	1	○		○		
	80 大正デモクラシーとはどのようなものか	1		○	○		
	81 政党内閣制はどのようにし	1		○	○		
						第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、政治参加の拡大の意義、アジアや欧米諸国との関係の変容、大衆社会の形成を理解する。 地域社会における労働や生活の変化、第一次世界大戦が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、国民の政治参加の拡大と日本の工業化の進展について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 アジアや欧米諸国との関係の変容や大衆社会の形成について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。	単元テスト⑩ プリント ノート

	て確立したのか						
	82 大正前後の文化の特徴は何か	1	○	○			
単元テスト⑩		1	○	○	○		
第3節 第二次世界大戦と日本の社会	83 昭和初期の経済不況はどのようなものだったのか	1		○	○	<p>恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。</p> <p>国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。</p> <p>第二次世界大戦に至るまでや戦時中の政治や社会、国民生活の変容について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。</p>	単元テスト⑫ プリントノート
	84 昭和初期の外交はどのようなものだったのか			○	○		
	85 ファシズムはどのようにして台頭したのか	1		○	○		
	86 日本はなぜ国際連盟を脱退したのか	1	○	○			
	87 軍部はどのようにして台頭したのか		○		○		
	88 日中戦争の長期化のなかでつくられた戦時体制とは		○		○		
	89 第二次世界大戦は日本にどのような影響をあたえたのか	1	○	○			
	90 アジア太平洋戦争はどのように推移したのか			○	○		
	91 戦時下の国民生活はどのようなものだったのか	1		○	○		

	92 アジア太平洋戦争はどのようにして終結したのか		○	○			
単元テスト②		1	○	○	○		
	93 占領政策はどのように進められたのか	1		○	○	<p>占領政策と諸改革, 日本国憲法の成立, 平和条約と独立の回復, 戦後の経済復興などを基に, 我が国の再出発及びその後の政治や対外関係を理解する。</p> <p>第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違, 冷戦の影響などに着目して, 主題を設定し, 戦前と戦後の社会の変容, 戦後政治の展開について, 事象の意味や意義, 関係性などを多面的・多角的に考察し, 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。</p> <p>第二次世界大戦後の社会や政治について, 見通しを持って学習に取り組み, 課題を主体的に追究する。</p>	単元テスト③ プリント ノート
	94 占領下の経済と政治はどのように推移したのか		○	○			
	95 戦後の経済政策はどのように転換したのか	1	○	○			
	96 戦後の人々の暮らしはどのようなものか			○	○		
	97 冷戦は占領政策にどのような影響をあたえたのか	1		○	○		
	98 独立後の政治はどのように推移したのか		○	○			
	99 55年体制はなぜ成立したのか	1		○	○		
	100 独立後の日米関係はどのように変化したのか		○	○			
単元テスト③		1	○	○	○		
第4節 現代の 日本と 世界	101 高度経済成長はなぜおきたのか	1		○	○	<p>アジア諸国との関係, 高度経済成長, 社会・経済・情報の国際化などを基に, 戦後の経済や対外関係, 国民生活の変容, 現代の政治や社会の枠組みを理解する。</p> <p>冷戦の推移と終結, グローバル化の進展の影響, 国民生活や地域社会の変化などに着目して, 主題を設定し, 戦後政治の展開, 日本経済の発展, 戦後の国際社会における日本の役割について, 事象の意味や意義, 関係性などを多面的・多角的に考察し, 歴史に関わる諸事象の</p>	単元テスト④ プリント ノート
	102 高度経済成長は社会にどのような影響をあたえたのか						

	103 55年体制下の政治はどのように推移したのか	1	○	○	<p>解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。</p> <p>現代の政治や社会の枠組みにつながる戦後の政治や経済、外交、社会について、見通しを持って学習に取り組み、課題を主体的に追究する。</p>	
	104 1990年代の政治や経済におきた変化とは			○		○
	105 日本はこれからどのような道を歩むのか			○		○
単元テスト⑬		1	○	○	○	
主題学習	<p>第5章 現代の日本の課題の探究</p> <p>1. 江戸時代の火山災害</p> <p>2. 地域からみた日本の戦後史</p> <p>3. 年中行事から探る伝統文化</p>		○	○	○	<p>これまでの学習の成果を活かし、主題に関する歴史的経緯を踏まえて、現代日本の課題を理解する。</p> <p>歴史の画期、地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係、それ以前の時代からの継続や変化などに着目して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、適切な主題を設定して多面的・多角的に考察、構想して表現する。</p> <p>これまでの自身の学習を振り返って調整するとともに、生徒自身が主体となる社会への見通しを示す。</p>
学年末考査		1	○	○	○	
時数合計		105				

令和8年度 教科年間計画

教科	数学	3年		【教科書】最新 数学C (数研出版)
科目	発展数学	3単位	使用 教材	【副教材】 3ROUND 数学C (数研出版) 新課程 チャート式 基礎と演習 数学II+B 新課程 チャート式 基礎と演習数学II+B 基本・標準例題 完成ノートパック

【科目の目標】

ベクトル，平面上の曲線と複素数平面について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

【評価の観点】

評価の観点		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・ 技能	ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	大きさや向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	大きさや向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	大きさや向きをもった量に着目し，演算法則を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を考察する力，数学的な表現を用いて事象を表現する力を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。

③主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	左側の求められる基準に達していない。
----------------	--	---	--	--------------------

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
平面上のベクトル	ベクトル	1	○			・有向線分とベクトル、ベクトルの表記について理解している。(知)	小テスト ファイル点検
	ベクトルの和 ベクトルの差 ベクトルの実数倍	3	○	○		・ベクトルの加法、減法、実数倍の計算の仕組みを理解している。(知) ・和や差における逆ベクトル、零ベクトルの役割を理解している。(思)	小テスト ファイル点検
	ベクトルの成分 ベクトルの成分と演算	3	○	○	○	・座標平面上のベクトルの成分を読み取り、その大きさを求めることができる。(知) ・成分表示されたベクトルの平行条件を理解し、ベクトルの和、差、実数倍の計算をすることができる。(思) ・ベクトルと座標平面を関連させ、ベクトルが成分で表現できることに関心をもとうとしている。(主)	小テスト ファイル点検
	ベクトルの内積 内積の性質	5	○	○	○	・ベクトルの内積の定義について理解し、ベクトルの大きさとなす角から、内積を求めることができる。(知) ・ベクトルの内積を余弦定理と関連付けて考察することができる。(思) ・内積の持つ図形的な意味を調べようとしている。(主)	小テスト ファイル点検
	位置ベクトル	2	○	○		・位置ベクトルの概念を理解している。(知) ・線分の内分点、外分点や三角形の重心を位置ベクトルで表現することができる。(思)	小テスト ファイル点検

	ベクトルと図形	2		○		<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの基本的な性質を用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察してその結果を表現したりすることができる。(思) 	小テスト ファイル点検
	ベクトル方程式	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ベクトル方程式の概念について理解し、直線のベクトル方程式を求めることができる。(知) 直線上の点を位置ベクトルで考察し、直線の方程式と関連付けることができる。(思) ベクトルを利用して円の性質を考察しようとしている。(主) 	小テスト ファイル点検
	単元テスト	1	○	○			
空間上のベクトル	空間の座標 空間ベクトル	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 空間における図形を、図や座標を利用して示すことができる。(知) 空間のベクトルを平面上のベクトルの拡張として捉えることができる。(思) 既知である平面の座標の概念を空間の座標に拡張しようとしている。(主) 	小テスト ファイル点検
	ベクトルの成分と演算	1	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 成分表示されたベクトルの大きさ、相等、和、差、実数倍の計算ができる。(知) 空間ベクトルの成分を座標空間と関連付けて考察することができる。(思) 	小テスト ファイル点検
	ベクトルの内積	2		○		<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの内積を、平面から空間へ拡張して考察することができる。(思) 	小テスト
	位置ベクトル 空間図形への応用	4	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの諸定理が平面の場合と同じであることを理解し、それらを利用することができる。(知) ベクトルの基本的な性質を用いて、空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察してその結果を表現したりすることができる。(思) 	小テスト ファイル点検
	単元テスト	1	○	○			
複素数平面	複素数平面 複素数の和と差	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 複素数平面について理解し、複素数を複素数平面上の点として表すことができる。(知) 複素数の実数倍は相似・拡大を表していることを理解している。(思) 複素数の加法・減法は平行移動を表していることを理解している。(思) 複素数平面を用いて、複素数を図形的に表現することに関心をもとうとしている。(主) 	小テスト ファイル点検
	複素数の極形式	4	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 複素数を極形式で表すことができる。(知) 複素数の乗法・除法は回転移動や拡大・縮小 	小テスト

					を表していることを理解している。(思)	ファイル 点検
	ド・モアブルの定理	3	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ド・モアブルの定理の意味を理解し、それを用いて、方程式$z^n = \alpha$の解を求める方法を理解している。(知) 複素数αのn乗根の図形的意味について考察することができる。(思) 	小テスト ファイル 点検
	複素数と平面図形	4		○ ○	<ul style="list-style-type: none"> 複素数zが満たす等式を、図形として考察することができる。(思) 等式を満たす点zが複素数平面上でどのような図形を描くかに関心を持ち、考察しようとしている。(主) 	小テスト ファイル 点検
	単元テスト	1	○	○		
2 次 曲 線	放物線 楕円 双曲線	6	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 放物線、楕円、双曲線について、それらの方程式を定義に基づいて軌跡の焦点や頂点、準線、漸近線といったそれらの方程式の関係について理解している。(知) 軌跡が放物線、楕円、双曲線となる点Pについて、点Pが満たす条件をもとにその軌跡の方程式について考察したり、その過程を表現したりすることができる。(思) 	小テスト ファイル 点検
	2次曲線の平行移動	2	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 2次曲線を平行移動して得られる2次曲線の方程式を求めることができる。(知) 複雑な方程式で表される2次曲線を、平行移動の考えを利用して調べようとしている。(主) 	小テスト ファイル 点検
	2次曲線と直線	2		○	<ul style="list-style-type: none"> 2次曲線と直線の共有点の個数や接線について、2次方程式の判別式を用いて考察することができる。(思) 	小テスト ファイル 点検
	曲線の媒介変数表示	2	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 曲線の媒介変数表示について理解し、媒介変数表示された曲線の方程式を求めたり、2次曲線を媒介変数表示したりすることができる。(知) 曲線の方程式の媒介変数表示に関心を持ち、媒介変数で表された曲線がどのような曲線であるか調べようとしている。(主) 	小テスト ファイル 点検
	極座標と極方程式	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 極座標について理解し、極座標が与えられた点の位置を表したり、平面上の円や直線について、それらの極方程式を求めたりすることができる。(知)

					<ul style="list-style-type: none"> ・曲線を極座標を用いて表すと簡潔に表せ、その性質を考察することができる。(思) ・平面上の点を表すのにいろいろな座標系があることに関心をもとうとしている。(主) 		
	単元テスト	1	○	○			
数学的な表現の工夫	データの表現方法の工夫	5	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の事象や社会の事象などを、図、表、統計グラフなどを用いて工夫して表現することの意義を理解している。(知) ・図、表、統計グラフなどを用いて、日常の事象や社会の事象などを数学的に表現し、考察することができる。(思) 	小テスト ファイル 点検	
	行列による表現	7	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の事象や社会の事象などを、行列を用いて工夫して表現することの意義を理解している。(知) ・行列に関する用語の意味を理解し、行列の和、差、実数倍、積の計算ができる。(知) ・行列の和と差、実数倍、積を用いて表現された日常の事象や社会の事象について、その行列の意味を考察することができる。(思) 	小テスト ファイル 点検	
	離散グラフによる表現	5	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の事象や社会の事象などを、離散グラフを用いて工夫して表現することの意義を理解している。(知) ・最短経路の問題について理解し、ダイクストラのアルゴリズムについて関心を持ち、自ら調べようとしている。(主) 	小テスト ファイル 点検	
	離散グラフと行列の関連	3	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・行列の積を用いて経路を数え上げることができる。(知) ・離散グラフの隣接行列の積が経路の数え上げに利用できることを考察することができる。(思) 	小テスト ファイル 点検	
思考力・判断力・表現力を磨く 数学Ⅱ+B+C		25	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試や大学入試共通テストの問題に取り組んでいる。(主) ・問題演習を通じて、問題を解く際の観点を身に付けている。(知)、(思) 	
合計		105					

教科 科目 単位数	外国語 論理・表現Ⅱ 2	受領校	北海道雄武高等学校	学科 学年(年次) 履修・実施	普通科 第三学年 選択・一斉
教科書 副教材	「MY WAY Logic and Expression Ⅱ」(三省堂) 「MY WAY Logic and Expression Ⅱ ワークブック」(三省堂)				

1 目標

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

(高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)より)

2 学習のポイント

- (1) オリエンテーション時に示す「授業のルール」を守り、積極的に言語活動に取り組んでください。
- (2) ワークシート等を多く配布します。配布物を整理するために、ファイル(A4サイズ)を必ず用意してください。
- (3) この科目では、主に「話すこと」、「書くこと」に関わる学習を行います。これまで学習し、身につけてきた英語力をさらに伸ばすことが目的となりますので、必ずこれまでの復習を大事にしてください。
- (4) 特に「話すこと」については、テーマに応じて即興で話す活動だけでなく、スピーチ、ディベート、プレゼンテーション、ディスカッションといった論理性を要する言語活動が多くなります。知識や表現の能力だけではなく、取り組みへの積極性も評価されますので、恥ずかしがらずにコミュニケーションを図る努力をしてください。

3 学習の評価

(1) 評価の観点とその趣旨

次の3つの観点に基づいて内容や時間のまとまりごとに「A・B・C」の3段階で評価を行い、学年末に5段階評定へと総括します。

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

(2) 評価方法と観点との関連 (◎=特に関連の深いもの)

評価方法\観点	①	②	③	主な対象
ア 学習活動の観察	○	○	◎	言語活動への取組・振り返りシート等
イ ワークシート・テスト等	◎	◎	○	課題提出、小テスト、定期テスト、単元テスト等
ウ パフォーマンステスト等	◎	◎	○	パフォーマンステスト
総括時の比率	1	1	1	

4 その他

<遠隔授業について>

- (1) 授業者は対面授業時を除き、基本的に配信校から授業をします。授業中の質問や疑問等については随時対応しますが、申し出にくい場合などについては、教室にいる受信担当の先生に申し出て構いません。
- (2) 授業者が現地にいらない分、皆さんの積極的な活動がより一層重要になります。メリハリをもって活動したり、わからないところを互いに教え合ったりすることは特に重要です。ぜひ、一緒に授業を「作っていく」つもりで参加してください。
- (3) 遠隔授業のため、音声の遅れや乱れが予想されます。これらの不都合を常に意識して柔軟に対応してください。

- (4) 遠隔授業では、Google Classroom などのクラウドサービスを活用します。利用におけるルールを遵守してください。
 (5) その他の遠隔授業の特性についてはオリエンテーション時に説明します。

<学習の支援について>

授業について、不安なことや気になること、配慮して欲しいことなどがあれば、可能な範囲で個別対応します。直接相談しにくい場合は、クラスルームやワークシートに書いてもらっても構いません。

5 年間授業計画 (計 60 時間)

	○題材 ●主な教材	配当	【学習領域】 ・主な学習内容 □対面授業 ◇テスト等	目標・ねらい	観点ごとの 主な評価の対象 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
4 / 5 / 6	○オリエンテーション	1	・論理表現Ⅱの学習について	・アンケートへの回答を通し、これまでの英語の学習を振り返り、論理表現Ⅱの学習について見通しをもつ。	①単元テスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価(振り返りシートなどの記述内容)
	○時制に関わる表現 ●Lesson 1	5	【書くこと/やりとり】 ・現在完了 ・過去完了 ・未来を表す表現	・これまでの経験や好きな場所について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり書いたりする。	
	○助動詞を使った表現 ●Lesson 2	5	【やりとり/発表】 ・助動詞表現 used to should 助動詞+have+過去分詞 Be 動詞+不定詞 □対面授業① ◇パフォーマンステスト	・週末の予定や最新のものなどについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、話して紹介したりする。	
	○受動態を使った表現 ●Lesson 3 Part 1	3	【やりとり】 ・受動態	・印象深かった授業について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合う。	
7 / 8 / 9	○準動詞を使った表現 ●Lesson 3 Part 2 ●Lesson 4 ●Lesson 5	12	【書くこと/やりとり/発表】 ・不定詞 ・使役動詞 ・知覚動詞 ・動名詞 ・分詞	・贈り物、日本の文化、いろいろな科学技術や将来の社会状況と職業について、情報や自分の考え、気持ちなどを書いたり、伝え合ったり、話して紹介したりする。	①単元テスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価(振り返りシートなどの記述内容)
	○比較表現 ●Lesson 6	5	【やりとり/発表】 ・比較級 ・最上級 ・同等比較 ・倍数表現 ・比較の強調	・物の大きさや、有名な場所について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、話して紹介したりする。	
	前期期末考査	1	◇考査	・学習内容の定着状況を確認する。	
10 / 11	○ロールプレイ ●Lesson 6 SA	1	【やりとり】 ・ホテルでのトラブル解決のロールプレイ	・ホテルでのトラブルについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合う。	①単元テスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価(振り返りシートなどの記述内容)
	○関係詞を使った表現・ディスカッション ●Lesson 7 ●Basic skills 3	5	【やりとり/発表】 ・関係代名詞 ・関係副詞 ・ディスカッション	・火星に関することについて、情報や自分の考え、気持ちなどを書いたり、伝え合ったり、話して紹介したりする。 ・無人島に持って行く物についてディスカッションする。	

令和8年度 遠隔授業配信シラバス

	○仮定法を使った表現 ●Lesson 8 ●Basic skills 4	6	【やりとり/発表】 ・仮定法 ・ディベート	・外国に関することや、「もし～、」というテーマについて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、話して紹介したりする。 ・日常的な話題や社会的な話題についてディベートを行う。	
	○否定の表現、代名詞を使った表現 ●Lesson 9	5	【書くこと/やりとり】 ・否定 ・代名詞 □対面授業② ◇パフォーマンステスト	・悩み事や社会問題について、情報や自分の考え、気持ちなどを書いたり、伝え合ったりする。	
12 / 1	○無生物主語を使った表現 ●Lesson 10 ●Basic skills 2	6	【やりとり/発表】 ・無生物主語構文 ・that を使った表現 ・プレゼンテーション	・調べ学習で調べたことや自分の関心のある人物について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、話して紹介したりする。	①単元テスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価(振り返りシートなどの記述内容)
	○論理的に表現する ●Basic skills 1 ●Basic skills Plus	5	【書くこと/発表】 ・与えられたトピックに対して自分の考えを表現する	・社会的な課題について、聞いたことを読み込んだことやマインドマップを利用しながら、情報や自分の考え、気持ちなどを書いたり、話して紹介したりする。	